MAXZEN

# 取扱説明書

（保証書付き）

# 32v 型 地上 /BS/CS ダブルチューナー液晶テレビ

# J32TSS06

32 インチ　HD 画質　W チューナー　合計出力 20W スピーカー

地上 DIGITAL　BS DIGITAL　110°CS DIGITAL　EPG 電子番組表　HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　ハードディスク録画可能 HDD USB

【注意】USB外付けハードディスクをご使用の場合、本製品を初期化または修理をされますと録画データはご覧になれなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品の液晶テレビをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

■ご使用前に必ずこちらの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえで正しくご使用ください。
とくに「安全上のご注意」は、ご使用になる人や周りの人の安全に関する内容を記載しているため、必ずお読みになり正しくご使用ください。

■お読みになられたあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

■保証書は必ず販売証明書（レシートなど）と一緒に大切に保管してください。保証書の提示がない場合、保証期間内であっても所定のサービスを受けられない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■本製品のパッケージや本書に記載されている以外の用途・方法でのご使用はお避けください。

マクスゼン株式会社

MEMO

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本製品は日本国内でのみご使用ください。
※本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※発行元に許可なく本書の内容を複写、転写することを禁止いたします。
※掲載されているイラストや画像はイメージです。

# もくじ


ページ

安全上のご注意 4

付属品 6

各部の説明 7

スタンドの取り付け方 9

B-CASカードを挿入する 10

アンテナと電源を接続する 11

リモコンを準備する 12

リモコンの機能 13

初期設定(かんたん設置設定)

1. 電源を入れる 14
2. かんたん設置設定 14
3. 郵便番号設定 14
4. 都道府県設定 14
5. B-CASカードテスト 15
6. 初期スキャン 15
7. アンテナ電源 16

機器設定

USB機器管理 17
録画設定 18
視聴制限設定 18
表示の設定 19
HDMI設定 20
かんたん設置設定(やり直すとき) 20
設置設定ー受信対象設定をする 20
設置設定ー初期スキャン 21
設置設定ー再スキャンをする 21
設置設定ーチャンネルを手動で設定する 21
設置設定ー地域設定 22
設置設定ー受信設定 22
設置設定ーB-CASカードの動作を確認する 23
システム設定ー設定情報リセット 23
システム設定ー放送メール 24
システム設定ーB-CAS情報 24
システム設定ーCSボード 24
システム設定ーライセンス情報 24
システム設定ールート証明書 24
その他の設定ー文字入力設定 25
その他の設定ー変換方式を切り換える 25
その他の設定ー選局対象 25

ページ

機器情報 25

テレビの視聴と設定

電源を入れる 26
電源を切る 26
チャンネルを換える 26
音量を調節する 26
消音 26
チャンネルの情報を表示する 26
番組情報を表示する 27
音声を切り換える 27
字幕を表示する 27
放送切換 27
入力切換 28
番組表 28
番組表を更新する 28
番組表に表示する内容を変更する 28
ジャンルを選んで番組を探す 29
dデータ 29
一時停止／静止 29

録画・予約機能

USBハードディスクに関する注意事項 30
USBハードディスクの接続と設定 31
番組表で録画・予約をする 31
番組表で予約する(基本操作) 32
毎週予約をする 32
自動録画をする 32
自動予約を一時的に解除する 32
予約の詳細設定を変更する 32
日時を指定して予約をする 33
予約を確認する 33
予約を変更する 33
予約を削除する 33
動作済みの予約(履歴)を一括で削除する 33

録画した番組を再生する

再生の基本操作 34
録画番組の再生中にできるリモコン操作 35

文字を入力する

画面キーボード方式 36
リモコンボタン方式 37

# もくじ


| | ページ |
|---|---|
| 外部機器との接続 | 38 |
| インターネットの設定 | |
| インターネットに接続したときにできること | 39 |
| 接続方法 | 39 |
| インターネットを利用するための設定 | 39 |
| IPアドレス設定 | 39 |
| DNS設定 | 39 |
| プロキシサーバー設定 | 39 |
| 接続テストをする | 39 |
| 映像の設定 | |
| 画質動作選択 | 40 |
| バックライト | 40 |
| コントラスト | 40 |
| 黒レベル調整 | 40 |
| 色の濃淡 | 40 |
| 色あい | 40 |
| 輪郭強調 | 40 |
| 色温度 | 40 |
| 動的コントラスト | 40 |
| ノイズ低減 | 41 |
| MPEGノイズ低減 | 41 |
| 高度な設定／詳細設定 | |
| 黒伸長 | 41 |
| ホワイトバランス | 41 |
| ガンマ設定 | 41 |
| シネマ設定 | 41 |

| | ページ |
|---|---|
| 画面の設定 | |
| 画面サイズ切替 | 42 |
| オーバースキャン | 42 |
| 両端ノイズカット | 42 |
| 垂直位置／大きさ | 42 |
| 4:3映像設定 | 42 |
| 調整の初期化 | 42 |
| 音声の設定 | |
| 音声調整 | 43 |
| 低音 | 43 |
| 高音 | 43 |
| イコライザー | 43 |
| バランス | 43 |
| サラウンド | 43 |
| ヘッドホン音量 | 43 |
| 音量自動調整 | 43 |
| 入力音量補正 | 43 |
| デジタル音声出力 | 43 |
| 音声同時出力 | 43 |
| 調整の初期化 | 43 |
| 各種設定（メニューの説明） | 44 |
| サブメニュー（クイックメニュー） | 46 |
| 故障かなと思ったら | 47 |
| 製品仕様 | 49 |
| ご使用上のお願いとご注意 | 50 |
| 保証とアフターサービス | 51 |
| 保証書 | 52 |

# 安全上のご注意

**ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
**お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。**

## 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

⚠ 注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

🛇 禁止の行為であることを告げるものです。

❗ 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

### 異常・故障時について

⚠ 警告

❗ **異常・故障時はただちに使用を中止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様サポートセンターにご相談ください。**

- 内部に水・金属類・燃えやすいものなどが入った場合
- 煙や焦げる臭い、異音などの異常が発生した場合
- 落としたり、キャビネットを破損した場合
- 電源が入ったり切れたりする場合

### 分解・改造について

⚠ 警告

❗ **お客様自身による分解・改造・修理はしないでください。**
内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店またはお客様サポートセンターにご相談ください。

### 本機の取り扱いについて

⚠ 警告

🛇 **液晶ディスプレイは精密機器ですので、強い力や荷重、衝撃を加えないでください。**
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になります。

🛇 **不安定な場所に置かないでください。**
倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

🛇 **本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。**
液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。

🛇 **異常に温度が高くなる所や、直射日光のあたる場所には置かないでください。**
火災の原因や、外装ケース・内部部品が劣化する原因になります。

🛇 **湿気やホコリの多い所、油煙や、湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。**
火災・感電の原因になります。

🛇 **本機使用中は、風通しの悪い狭い所で使用したり、布・布団・保温材などで覆ったり包んだりしないでください。**
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

### 雷について

⚠ 警告

🛇 **雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れないでください。**
感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## 本機の取り扱いについて

### ⚠ 注意

**付属のスタンドを使用し、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください。**
倒れてけがの原因になることがあります。

**アンテナ工事が必要なときは、販売店または専門業者にご相談ください。**
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

**壁掛け設置工事は、販売店または専門業者にご相談ください。**
落下してけがの原因になることがあります。

**あお向けや、横倒し、さかさまにして使用しないでください。**
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

**本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔をあけて備え付けてください。また、通気孔をふさがないでください。**
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

## お手入れについて

### ⚠ 注意

**お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。**
感電の原因になることがあります。

**定期的に電源プラグのホコリを取り除いてください。**
火災・故障の原因になることがあります。

**定期的に通気口などに付着したホコリやごみを取り除いてください。**
長期間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災・故障の原因になることがあります。内部の掃除が必要な場合はお買上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

**長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。**
電源プラグにホコリがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

## 電池について

### ⚠ 注意

**電池の液がもれたときは素手でさわらないでください。**
電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を負うおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症などの症状があるときは、医師に相談してください。

**電池は火や直射日光などの過激な熱にさらしたり、分解・改造しないでください。また、ショートさせないでください。**
電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になることがあります。

**電池はプラスとマイナスの向きに注意し、本書（P13）のとおり正しくいれてください。**
電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になることがあります。

**長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。**
電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になることがあります。

## 移動について

### ⚠ 注意

**移動させるときは、接続されている線などをすべて外してください。**
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

# 守っていただきたいこと

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないよう注意してください。

ステッカーやテープを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因になることがあります。

乳幼児やペットがいるお客様は、転倒・感電・火傷・誤飲などに十分注意してください。

搬送について・・・
本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

電波障害について・・・
本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉がおこり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このときは、機器を影響のない所まで本機から離してください。

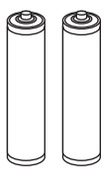
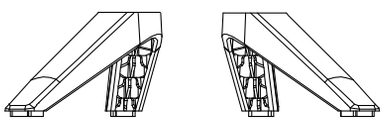
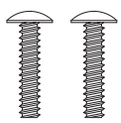
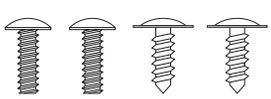
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用について・・・
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋（場所）でのご使用について・・・
ご使用になる部屋（場所）の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

# 付属品

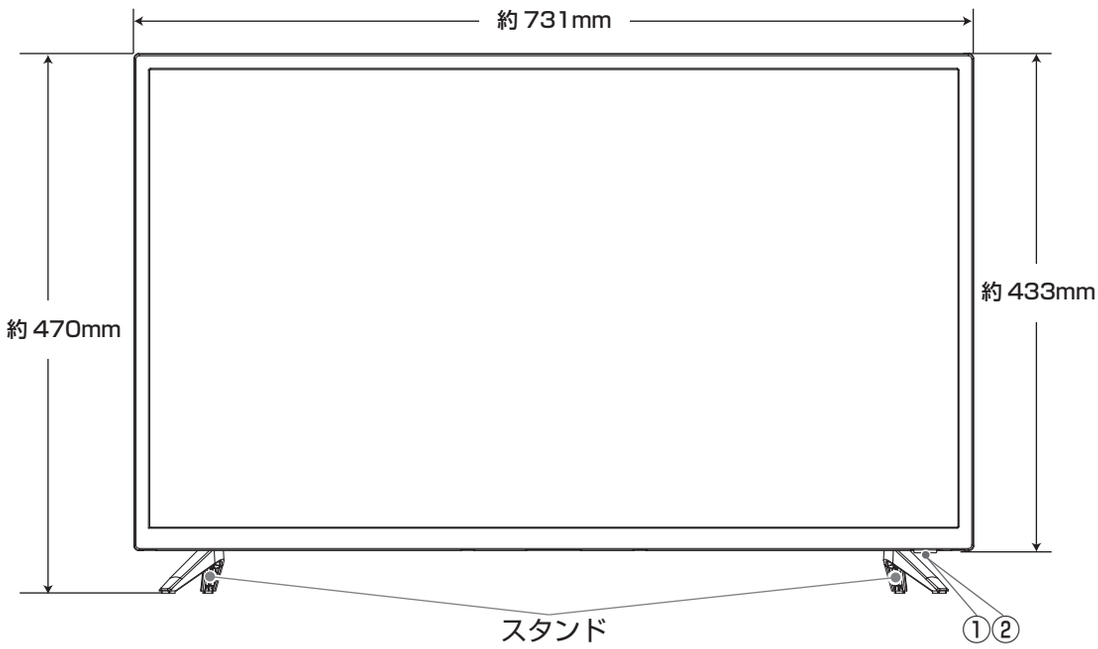
●本製品には以下の付属品が同梱されています。

●アンテナや外部機器などを接続するためのケーブルやコードは付属されておりません。

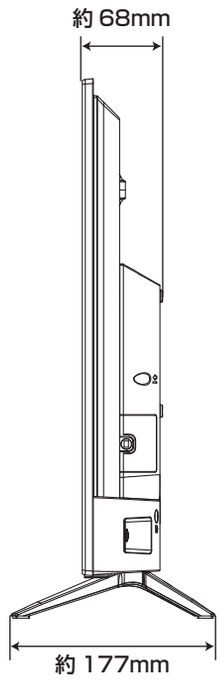
| | |
|---|---|
| <br>リモコン × 1 個 |  <br>単４形乾電池 × ２本<br>（動作確認用） |
|  <br>スタンド × ２個 |  <br>スタンド用ネジ × ２本 |
| <br>miniB-CAS カード × １枚 | <br>取扱説明書<br>（保証書付き・本書）<br>× １部 |
|  <br>壁掛け金具取付用ネジ：計４本<br>上段用：M4×15・２本<br>下段用：ST4×15・２本<br>※本体背面の VESA200×100 に使用します。 | |

# 各部の説明

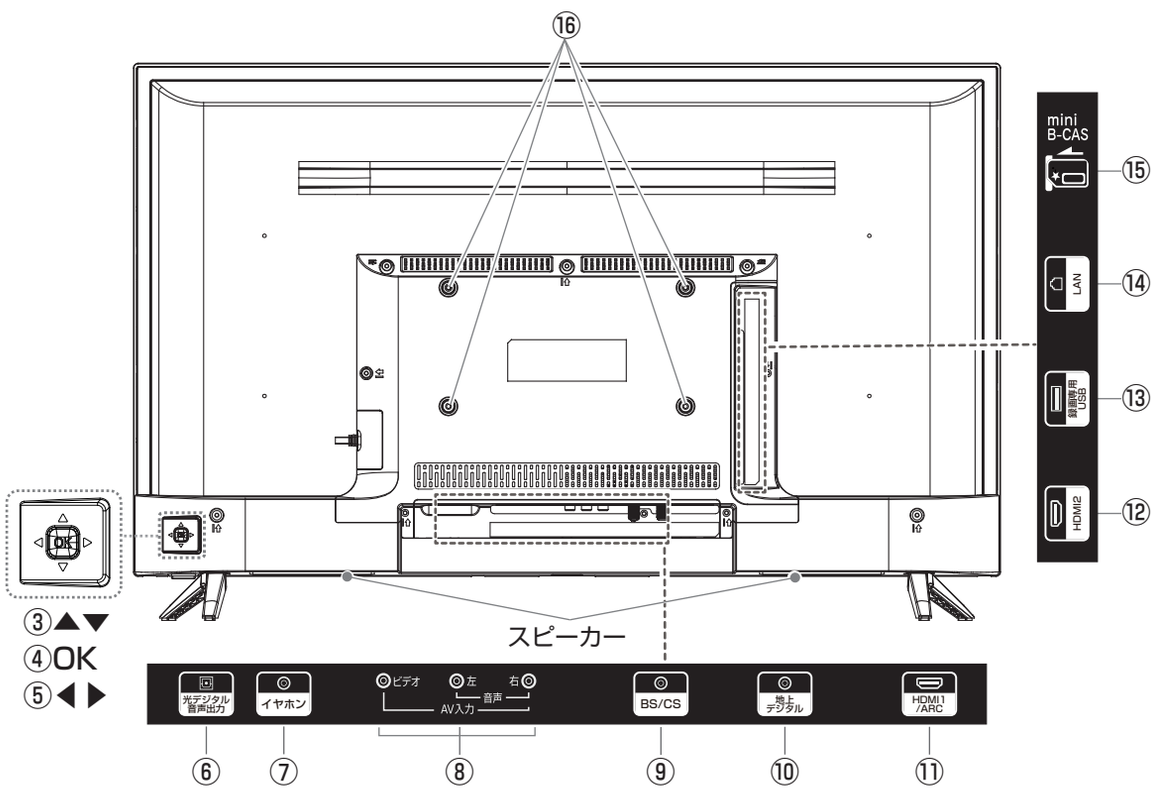
【本体前面】




【本体右側面】




【本体背面】



# 各部の説明

## ①電源表示ランプ

青色点灯：電源がオンのとき
赤色点灯：リモコンで電源をオフにしたとき（スタンバイ状態）

## ②リモコン受光部

リモコンの信号を受信する部分です。
リモコンはこの部分へ向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

## ③チャンネル選局ボタン

▲（増）と▼（減）で選局します。

## ④電源ボタン

電源のオン・オフに使用します。

## ⑤音量ボタン

▶（増）と◀（減）で調節します。

## ⑥光デジタル音声出力端子

SPDIFケーブル(市販品)を接続します。

## ⑦イヤホン出力端子

イヤホン／ヘッドホン（市販品）などを接続します。

## ⑧AV 入力端子

AVケーブル（市販品）を接続します。

## ⑨BS/CS アンテナ端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

## ⑩地上デジタルアンテナ端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

## ⑪HDMI1 端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。
※バージョン1.4、ARC対応

## ⑫HDMI2 端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。
※バージョン1.4

## ⑬録画専用 USB

USBハードディスクドライブ（市販品）を接続します。
※バージョン2.0

## ⑭有線 LAN 端子

有線LANケーブル（市販品）を接続します。
※RJ-45（10BASE-T/100BASE-TX）

## ⑮miniB-CAS カードスロット

付属のminiB-CASカードを切り欠き面を左下にして、
「カチッ」と音がするまで奥に押し込みます。

## ⑯壁掛け金具取付用ネジ穴 × 4

本製品は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けることができます。
●VESA規格　200×100
　ネジ付属（上段用2本：M4×15・下段用2本：ST4×15）
※壁掛け金具の取り付けは必ず専門業者にご依頼ください。
※専門業者以外の人が取り付けて壁への取り付けが不適切だと、
　テレビが落下して打撲や大けがの原因となることがあります。

# スタンドの取り付け方

**⚠ 注意**

■テレビが破損したりけがをすることがあるので作業は２名以上でおこなってください。
■画面を強く押さえたりしないでください。液晶パネルが割れることがあります。
■テレビ本体を横に寝かせて作業をしてください。
■毛布など厚手のやわらかい布を敷いた上でおこなってください。

プラスドライバー（市販品）をご用意ください。

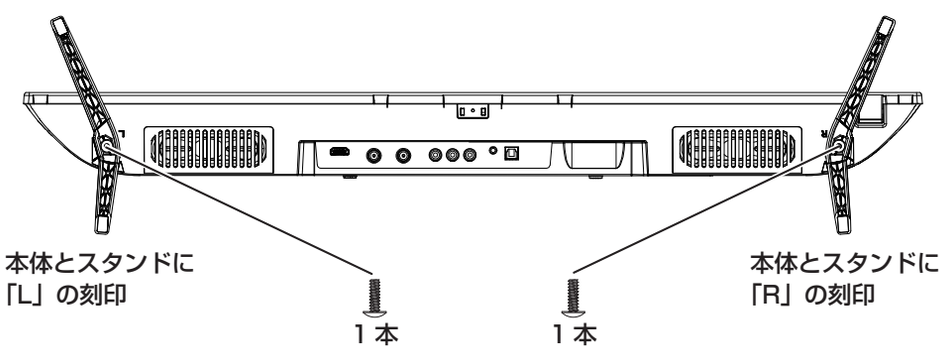
## ●本体の底面にスタンドを取り付けます。

本体の底面とスタンドにはそれぞれ「R」と「L」の刻印があります。
画面に向かって右側が「R」、左側が「L」です。

## ●スタンドの底面から左右 1 か所ずつネジで本体に取り付けます。

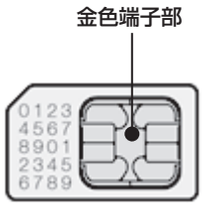
※ネジは付属品です。
※ゆるみのないようにしっかりと取り付けてください。

【本体底面】※画面を上にしています。



# B−CASカードを挿入する

●miniB-CAS カードは取扱説明書などが入った袋に同梱されています。
●台紙（説明書）は裏面もよくお読みのうえ、大切に保管してください。
●miniB-CAS カードを抜き差しするときは、本機の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いたあとにおこなってください。
●金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部にふれないようにご注意ください。

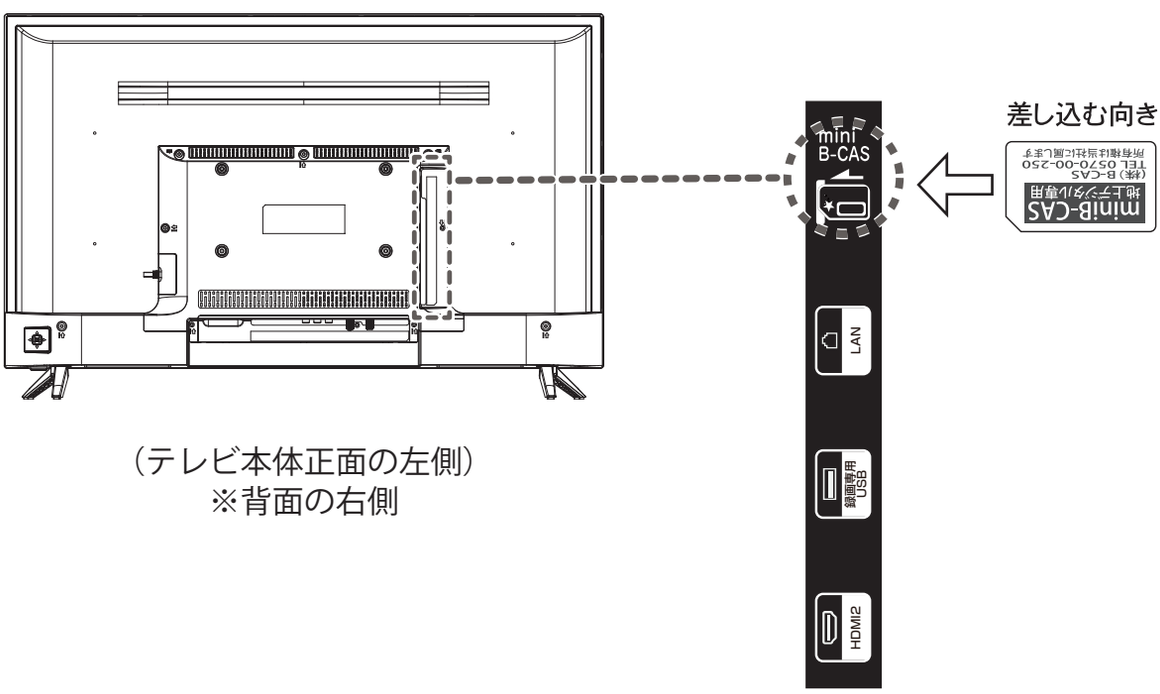



●乾いたきれいな手で取り扱ってください。
●金色端子部が指紋などでよごれてしまったときは、乾いたきれいな柔らかい布で拭き取ってください。

## 挿入の仕方

**1** **miniB-CASロゴ印刷面を本体の背面側に向け、角が欠けた方から差し込む**

**2** **「カチッ」と音が鳴るまで押し入れる**



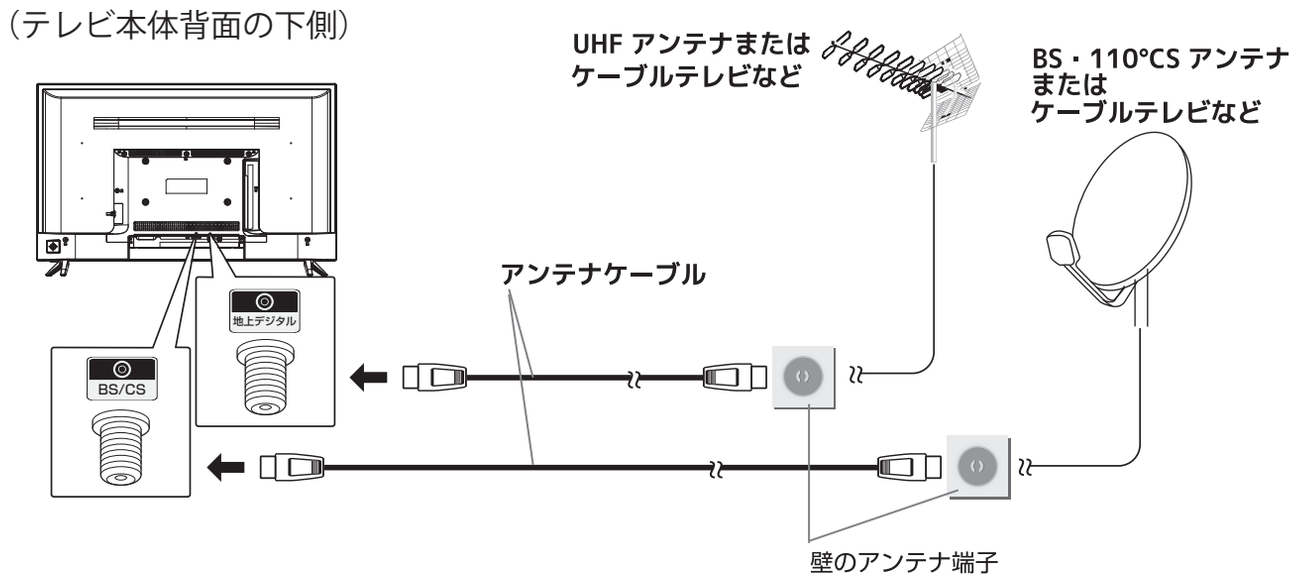

（テレビ本体正面の左側）
※背面の右側

# アンテナと電源を接続する

**⚠ 注意**

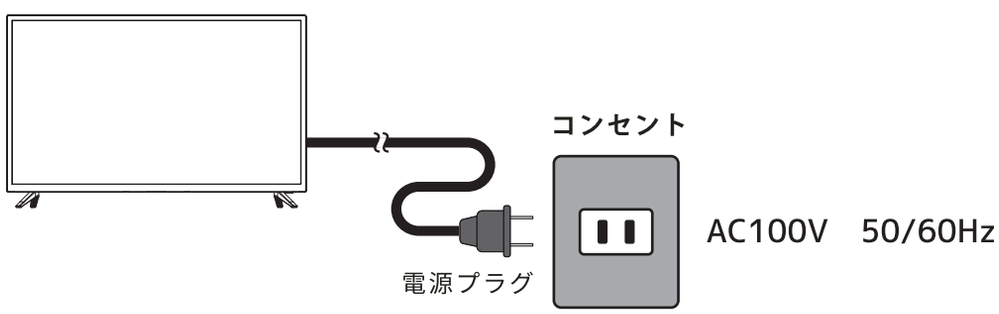
■設置・調整についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
■アンテナケーブルや混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。
■アンテナケーブルのピンが曲がっていると折れたり受信できなくなるため確認してください。
■アンテナケーブルは工具で強く締めずに緩まない程度に手で締めてください。
■接続の際はテレビ本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## アンテナケーブルのつなぎ方




※地上波および BS・CS 放送をご覧いただくには、それぞれに対応したアンテナをご用意いただくか、ケーブルテレビ事業者や光回線事業者と契約が必要です。

## 電源ケーブルのつなぎ方・電源の入れ方

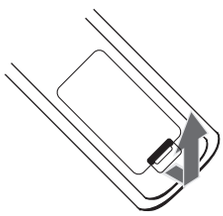



●テレビ本体の電源プラグを壁などのコンセントに差し込みます。
●テレビ本体の正面右側面またはリモコンの［電源］ボタンを押します。
●リモコンの［電源］ボタンをもう一度押すと、待機状態になります。

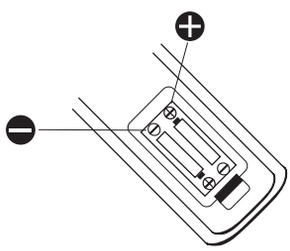
# リモコンを準備する

## 乾電池を入れる

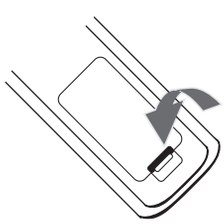
**1** 指で矢印部分にあるツメを押さえながら、上へ電池カバーを持ち上げて外してください。



**2** 単４形乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えないように入れてください。



**3** 矢印部分とは反対側にある電池カバーの小さなツメをリモコン本体側に引っ掛けてから、矢印部分を指で押さえて元どおりに閉めてください。

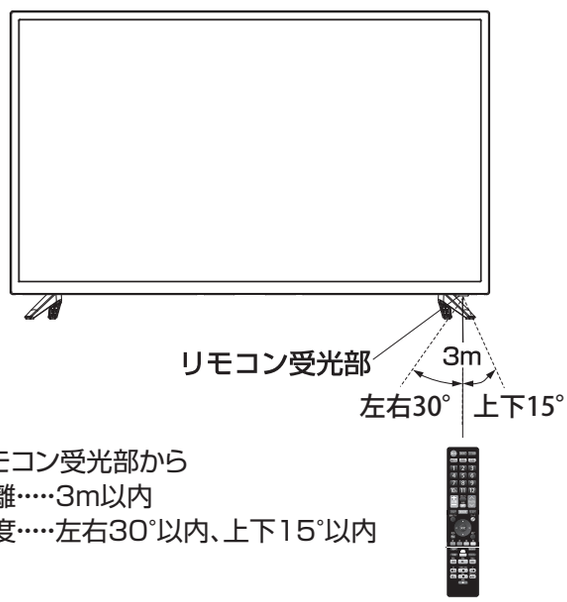


### ⚠ 乾電池について

- リモコンには単4形乾電池2本が必要です。
- 付属の単4形乾電池2本は動作確認用です。早めに新しい電池と交換されることをおすすめします。
- 乾電池の寿命は、ご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったら、2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用済みの乾電池は、地方自治体またはお住いの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

## リモコンの使用範囲について

- リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。
  強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
  動作しなかったり、動作しにくくなります。




- リモコン受光部から
  距離……3m以内
  角度……左右30°以内、上下15°以内

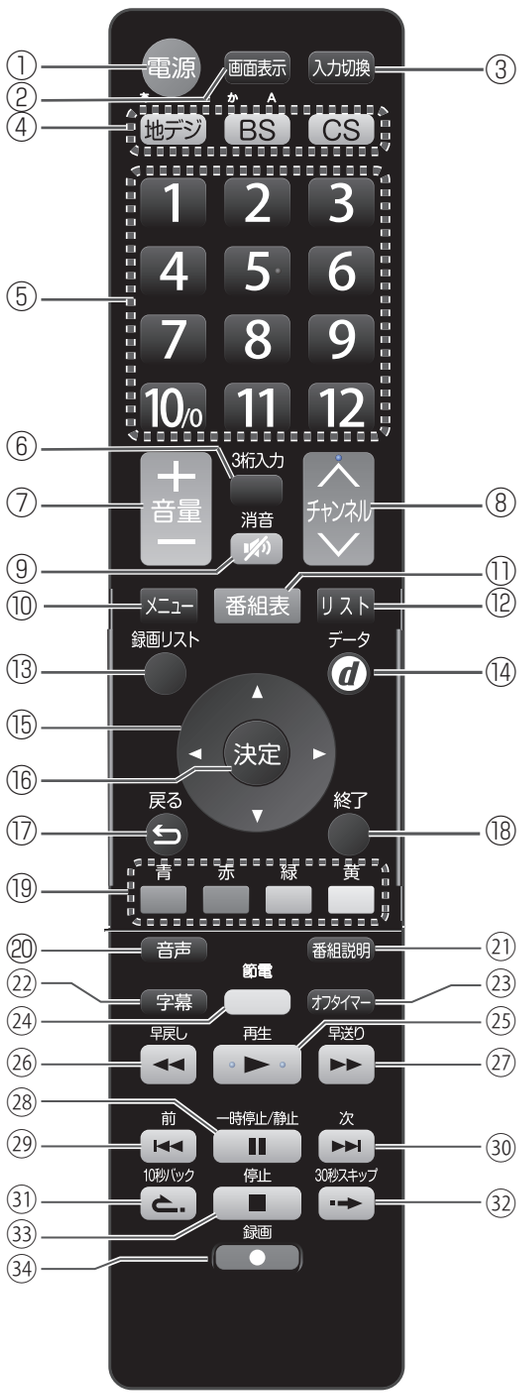
### ⚠ リモコンについて

- 落としたり、振り回したり、衝撃などを与えないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

# リモコンの機能

●本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能です。

①電源を入れる／待機する
②視聴しているチャンネルや番組情報を見る
③外部入力（テレビ、HDMI1～2、ビデオ）に切り換える
④放送の種類を切り換える
⑤チャンネルを選ぶ（ワンタッチ選局）
文字を入力する
⑥3桁のチャンネル番号を選局する
⑦音量を調節する
⑧チャンネルを選ぶ（順次選局）
⑨音を消す
⑩設定メニューを表示させる
⑪番組表で番組を選ぶ（見る、録画する）
⑫サブメニューを表示させる
⑬録画リストを表示させる
⑭データ放送の画面に切り換える
⑮方向ボタン（上▲・下▼・左・◀・右▶）
⑯選択した項目を決定する
⑰メニュー操作で1つ前の画面に戻る
⑱操作を終了する
⑲カラーボタン（さまざまな用途に使用）
⑳音声を切り換える
㉑番組名や放送局名、放送時間などを見る
㉒字幕を表示させる
㉓オフタイマーを設定する
㉔節電の切り換えをする
㉕再生する
㉖早戻し再生をする
㉗早送り再生をする
㉘再生を一時停止させる／映像を静止させる
㉙現在のチャプターの先頭にスキップして再生
㉚次のチャプターの先頭にスキップして再生
㉛10秒戻る
㉜30秒進む
㉝録画や再生を停止させる
㉞視聴中の番組を録画する



# 初期設定（かんたん設置設定）

■開封後、初めて電源を入れた時、画面は自動的に地上デジタルのかんたん設置設定画面が表示されます。
■かんたん設定の入力操作はリモコンでおこないます。

## 1　電源を入れる

コンセントに電源プラグを差し込むと、本体の電源ランプが赤色に点灯します。本体の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。（本体の電源ランプが青色に点灯します）

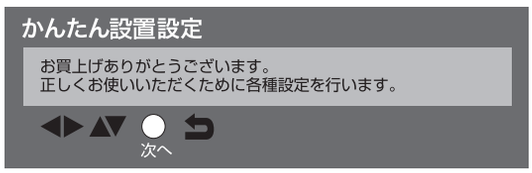
※電源ボタンを押してから画面が映るまでに数秒～十数秒かかります。画面が表示されるまでお待ちください。

## 2　かんたん設置設定

〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

初期設定がはじまります。
「右図」が表示されましたら【決定】ボタンを押してください。

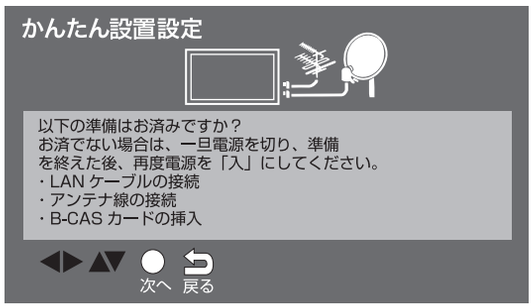
※メインメニューの「かんたん設置設定」をおこなうことでも再設定できます。




以下の準備の確認をしてください。準備を終えていない場合は【戻る】ボタンを押して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いた後以下の準備をしてください。

・LANケーブルの接続
・アンテナ線の接続
・miniB-CASカードの挿入

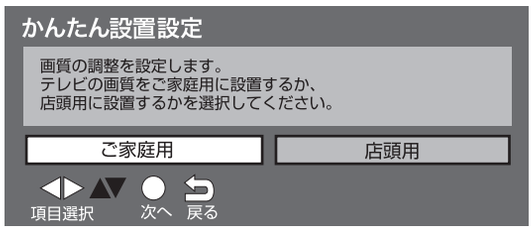
準備がお済みの場合は【決定】ボタンを押してください。




つぎの項目は「ご家庭用」を選択し【決定】ボタンを押してください。

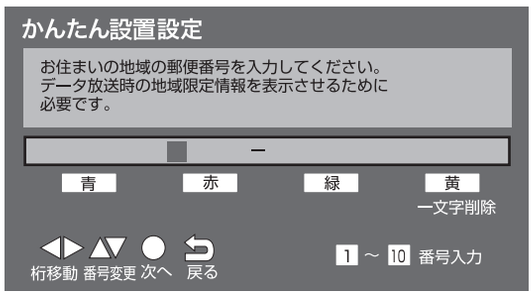
※「店頭用」は販売店向けの仕様です。一般的には使用しません。

※本製品は一般家庭用です。



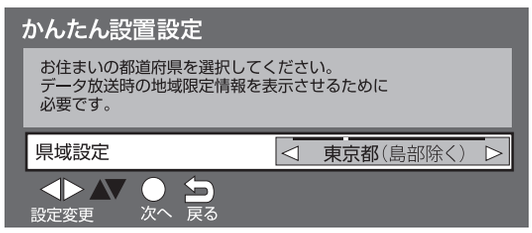

## 3　郵便番号設定

郵便番号を設定します。【数字】ボタンで郵便番号を入力してください。入力後に【決定】ボタンを押してください。




## 4　都道府県設定

お住まいの都道府県を【◁ ▷方向】ボタンで選び、【決定】ボタンを押してください。

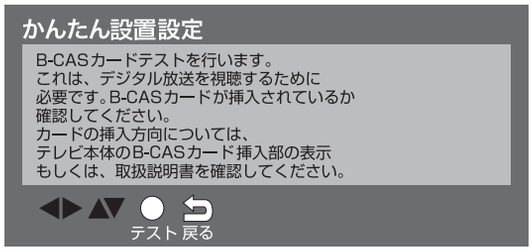


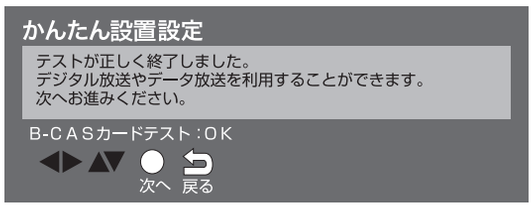
## 5　B-CASカードテスト

B-CASカードのテストをおこないます。
挿入が完了していましたら【決定】ボタンを押してください。

※挿入方法は本書のP10をご覧ください。

「B-CASカードテスト：OK」と表示されましたら【決定】ボタンを押してつぎへお進みください。



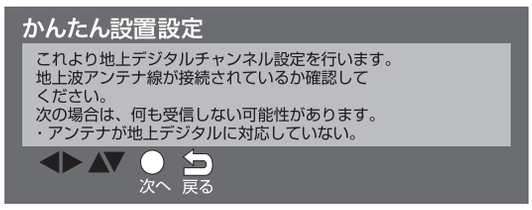




## 6　初期スキャン

初期チャンネルスキャンを開始します。

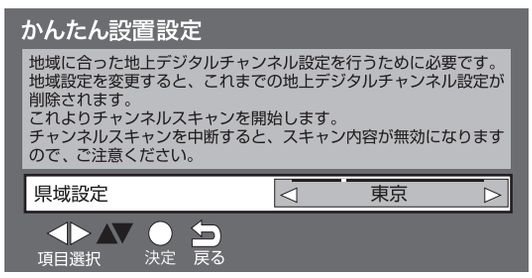
地上波アンテナが正しく設置され、テレビ背面の端子に正しく接続されていることを確認してください。
確認できましたら【決定】ボタンを押してください。

※接続方法は本書のP11をご覧ください。




再度、地域の確認をしてください。

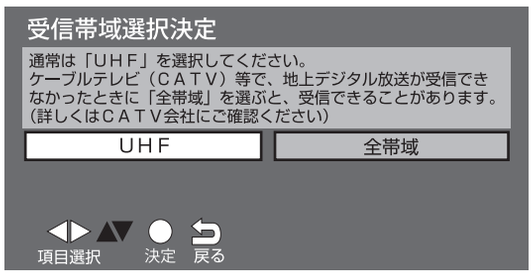
【決定】ボタンを押すとチャンネルスキャンが開始されます。



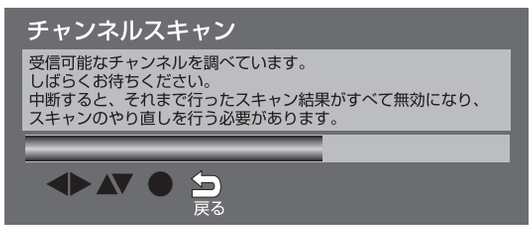

受信帯を選択します。

通常は「UHF」を選択して【決定】ボタンを押してください。
ケーブルテレビ(CATV)などで、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。

※詳しくはCATV会社にご確認ください。




チャンネルスキャンが開始されます。
お住まいの地域の地上デジタルチャンネルを受信します。
完了するまでしばらくお待ちください。

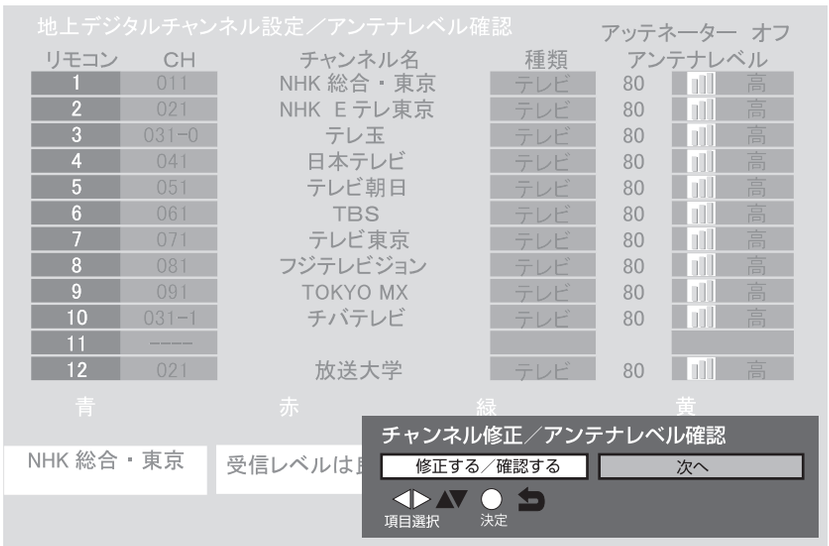


## 6　初期スキャン（つづき）

チャンネルスキャンが完了しますとつぎの表示になります。

リモコンの1～12までにチャンネル名などがうすく表示されます。内容を確認後、「次へ」で【決定】を押します。

※「項目選択」で「修正する／確認する」を選択するとうすく表示された部分がはっきり表示され各チャンネルの受信状況が確認できます。

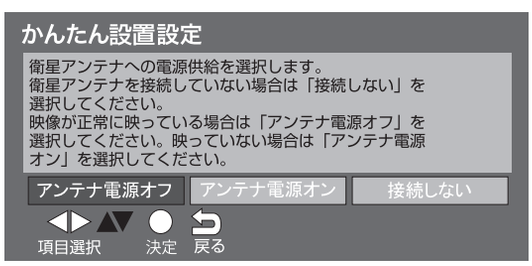



## 7　アンテナ電源

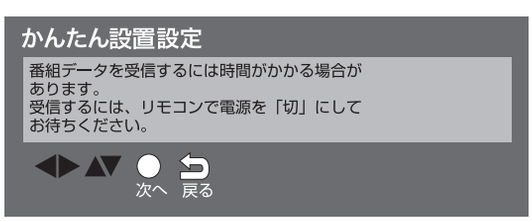
衛星アンテナへの電源供給を選択します。

衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択してください。映像が正常に映っている場合は「アンテナ電源オフ」を選択してください。映っていない場合は「アンテナ電源オン」を選択してください。

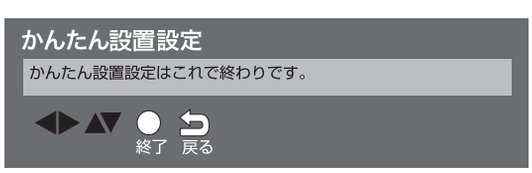
選択が終わりましたら【決定】ボタンを押してください。




すでに受信は完了していますので【決定】ボタンを押してください。




かんたん設置設定はこれで終わりです。
【決定】ボタンを押すとかんたん設置設定画面が閉じ、受信したテレビ放送の番組が表示されます。




### ■設定を完了しても何も映らないときは…

アンテナと本機との接続が正しくない可能性があります。以下をご確認のうえ再度設定をお確かめください。

①地上デジタル放送の受信方法はどちらですか？

| 屋外アンテナの場合 | ケーブルテレビの場合 |
|---|---|
| アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF／UHFの混合アンテナになっているかご確認ください。詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。 | ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるかご確認ください。伝送方式が不明な場合はご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。 |

②地上デジタル放送の受信強度は50%以上ですか？
（受信強度の確認方法は【サブメニュー】の「アンテナレベル」で確認してください。）

| 50%未満の場合 | 50%以上の場合 |
|---|---|
| 電波が弱いもしくは電波障害の可能性があります。詳しくはお買い上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。 | アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか確認し、チャンネルの再設定をしてください。 |

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## USB機器管理

※注意: USBハードディスクを録画用に登録するとUSBハードディスクは初期化され、すべてのデータが消去されます。

- 録画用に登録していないUSBハードディスクを接続したとき: 登録のメッセージが表示された場合は、表示にしたがって登録・設定をしてください。
- 接続しているUSBハードディスクを録画用に登録するとき:以下の手順で本機に登録します。

1. 「USB機器管理」を選択して【決定】ボタンを押します。
   USB機器一覧が表示されます。

- モードについてUSB機器一覧の「モード」には、USBハードディスクの登録モードが表示されます。

USB 機器一覧

| 機器 | 接続 | モデル名 | 表示名 | モード | 録画可能時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 接続 | ○○○○ | | 未登録 | |
| 2 | 未接続 | ○○○○○○○ | ○○○○ | 登録 [ 録画用 ] | ○○:○○ |
| 3 | 未接続 | ○○○○○○○ | ○○○○ | 登録 | ○○:○○ |
| 4 | 未接続 | ○○○○○○○ | ○○○○ | 登録 | ○○:○○ |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

●登録[録画用]:
録画、再生用に登録されています。このモードのUSBハードディスクに録画することができます。

●登録:
録画番組の再生用に登録されています。このUSBハードディスクに録画することはできません。

●未登録:
登録されていないUSBハードディスクです。録画用に登録すると、それまで「登録[録画用]」として登録されていたUSBハードディスクのモードは、「登録」に変わります。

2. 未登録のUSBハードディスクを選択して【決定】ボタンを押します。
3. 画面に表示される内容にしたがって録画用に登録します。

---

**■USBハードディスクの詳細情報を見る**

登録済または接続しているUSBハードディスクの詳細情報を確認することができます。
- USB機器一覧で詳細情報を確認するUSBハードディスクを選択して【赤】ボタンを押します。

- 詳細情報が表示されます。

---

**■USBハードディスクの表示名を変更する**(P36参照)

USBハードディスクの表示名を変更することができます。

- USB機器一覧で表示名を変更するUSBハードディスクを選択して【緑】ボタンを押します。
  文字入力画面が表示されます。表示名を入力して、【決定】ボタンを押します。

※(スペース)だけの名称は登録できません。
※録画機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。

---

**■USBハードディスクを再登録する**

USBハードディスクを再登録すると、録画用として使用できます。
正常に使用できなくなったUSBハードディスクを再登録すると、使用できるようになる場合があります。

重要:再登録をすると、USBハードディスクは初期化され、録画内容はすべて消去されます。

- USB機器一覧で再登録するUSBハードディスクを選択して【決定】ボタンを押します。
  録画用として再登録されます。

---

**■USBハードディスクの登録を削除する**

登録されているUSBハードディスクが、8台を越えるときは、使用しなくなったUSBハードディスクの登録を削除します。
登録を削除されたUSBハードディスクは、未登録のUSBハードディスクになります。
- USB機器一覧で登録を削除するUSBハードディスクを選択して【黄】ボタンを押します。

---

**■USBハードディスクを取り外す**

USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする前にこの操作をします。
- USB機器一覧で取り外すUSBハードディスクを選択して【青】ボタンを押します。

※本機の電源が「切」のときは、いつでもUSBハードディスクを取り外すことができます。

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## 録画設定

※USBハードディスクで録画、再生するための基本的な設定をします。
「録画設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■録画ボタンの設定をする**

録画ボタンで録画するとき、録画を終了する時間の設定をします。

1. 「録画ボタン設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「番組終了」または「3時間録画」を選び【決定】ボタンを押します。

・番組終了：録画ボタンを押して、見ている番組の録画を開始したとき、その番組が終了すると、自動で録画を停止します。
・3時間録画：録画ボタンを押して、見ている番組の録画を開始したとき、3時間が経過すると、自動で録画を停止します。

録画設定

| | |
|---|---|
| 自動予約 | オン |
| 録画ボタン設定 | 3時間録画 |
| オートチャプター | オン |
| USB　HDD機能待機 | オン |

**■オートチャプターの設定をする**

番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けるための設定をします。

1. 「オートチャプター」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「オートチャプター」で「オン」または「オフ」を選び、【決定】ボタンを押します。
   ・オン：番組を録画中に、自動でチャプターマークが付きます。（お買い上げ時の設定）
   ・オフ：自動でチャプターマークは付きません。

**■USBハードディスクが動作していないときに休止状態にする**

本機に接続しているUSBハードディスクが動作していないとき、休止状態にします。

- 「USB HDD待機」を選択して押して【決定】ボタンを押し「オン」または「オフ」を選択します。
  ・オン：休止状態にしません。
  ・オフ：USBハードディスクがしばらく動作していないとき、休止状態にします。
- 「オフ」にすると、USBハードディスクの消費電力は低減しますが、録画、再生など、動作開始の準備にかかる時間が長くなります。
- 「オン」に切り換えたときは、再生や録画の操作をおこなうと設定が有効になります。または、電源を入れ直すと有効になります。

※USBハードディスクによっては、「USB HDD待機」を「オン」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって休止状態になる場合があります。

## 視聴制限設定

※暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要です。暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「設定情報のリセット」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。暗証番号を設定しましたら、忘れない様にメモを取るなど大切に保管してください。

**⚠重 要**

万が一、暗証番号を忘れた場合は、「サポートセンター」にご連絡ください。必要でない場合は登録しないことをおすすめします。

**■暗証番号を設定する**

1. 「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 登録したい暗証番号4桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
   ・間違えて入力した場合は、【戻る】ボタンを押して、もう一度入力し直します。
   ・入力した数字は画面には「＊」で表示されます。
3. 【1】～【10/0】ボタンでもう一度同じ4桁の暗証番号を入力します。

暗証番号入力
暗証番号を入力してください。
暗証番号　****
戻る　1 ー 10 番号入力

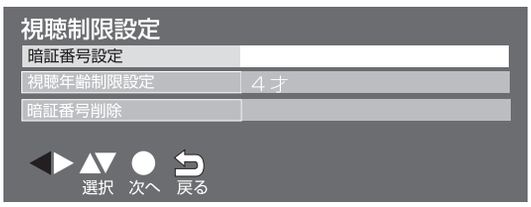
# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## 視聴制限設定(つづき)

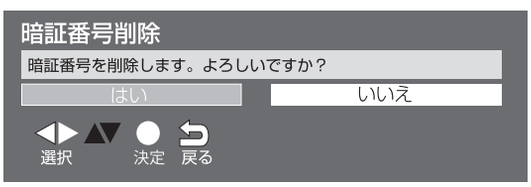
**■暗証番号を変更する**

1.「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 登録した暗証番号4桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
3. 「暗証番号設定」に【1】～【10/0】ボタンで新しい暗証番号を入力します。
4. 新しい暗証番号を、もう一度入力します。



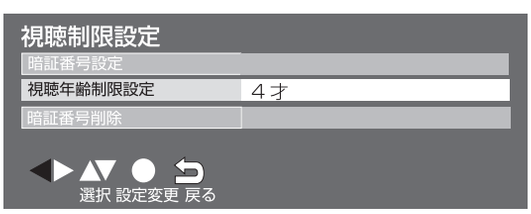

**■暗証番号を削除する**

1.「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 登録した暗証番号4桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
3. 「暗証番号削除」を選択し【決定】ボタンを押します。
4. 「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。




**■視聴できる番組を制限する**

1. 「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.登録した暗証番号4桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
3. 「視聴年齢制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
　※制限できる年齢は、「4才」～「19才」と「無制限」です。
　(お買い上げ時は、「4才」に設定されています)
4.制限の項目を選択して【決定】ボタンを押します。




## 表示の設定

**■字幕の設定をする**

1. 「 表示の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
　・字幕や文字スーパーの設定をします。
　・デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。
　　複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
2. 「字幕の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 「字幕」、「字幕言語」、「文字スーパー」、「文字スーパー言語」それぞれの項目の設定をします。
4.設定が終了したら【決定】ボタンを押します。

●登録字幕:
字幕を表示させるときは「オン」を選択します。
表示させないときは「オフ」を選択します。

●登録字幕言語:
字幕に表示する言語を「日本語」または「英語」から選択します。

●登録文字スーパー:
文字スーパーを表示させるときは「オン」を選択します。
表示させないときは「オフ」を選択します。

●登録文字スーパー言語:
文字スーパーに表示する言語を「日本語」または「英語」から選択します。

設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送にしたがって表示されます。

**■外部入力の機器の設定をする**

入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

1. 「 入力表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 機器を接続した入力端子(HDMI1、2、ビデオ)を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 機器に合わせた表示を選択して【決定】ボタンを押します。

**■タイトル表示**

チャンネルを切り換えたときの、番組タイトル表示のオン／オフです。

1. 「タイトル表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「オン」「オフ」を選択します。

**■時計表示**

時計(現在時刻)表示のオン／オフです。

1. 「時計表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「オン」「オフ」を選択します。

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## HDMI設定

●本製品のHDMI連動機能は、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。

●本製品とHDMI連動機能対応のレコーダーやパソコンなどの機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。

※動作につきましては接続機器により機能しない場合があります。また、HDMI連動機能で生じた接続機器の不具合、故障等はいかなる場合でも保証の対象とはなりません。

● HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
・接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
・すべての接続機器の動作を確認してください。

※機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

■本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

1.「HDMI設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■HDMI連動**

●本製品のリモコンでのHDMI連動操作、レコーダーの録画、予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

| HDMI設定 | |
|---|---|
| HDMI連動 | オン |
| 電源入連動 | オフ |
| 電源切連動 | オン |
| 自動切 | オフ |
| レコーダ操作 | 通常 |

**■電源入連動**

●連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になる機能です。

**■電源切連動**

●本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。
(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります)

**■自動切**

●使用していない連動機器の電源を個別に「切」にする機能です。
入力を切り換えて使用が終了した機器の電源を、個別に「切」にします。

※HDMI連動機能のレコーダーに対応しています。その他のHDMI連動機器の場合は、機器によって対応していない場合があります。

**■レコーダ操作**

●「通常」と「拡大」があり、「拡大」にすると本機のリモコンでレコーダーの操作ボタンを追加できます(レコーダー入力切換時)。
レコーダーの機器によって、チャンネルや番組表などのボタンが追加されます。

## かんたん設置設定(やり直すとき)

「かんたん設置設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとでもう一度「かんたん設置設定」をやり直してください。

※詳しくはP14を参照ください。

## 設置設定

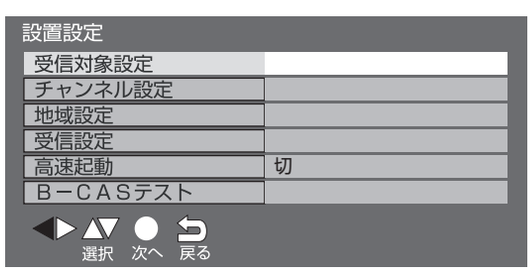
**■受信対象設定をする**

1.「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

2.「受信対象設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

・BS・110度CS用アンテナに電源を供給するときは、「使う」に設定します。

・ほかの機器からアンテナに電源が供給されているときは、「使わない」に設定します。



# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## 設置設定

**■初期スキャン**

地上デジタルチャンネルを自動で設定します。

1.「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「チャンネル設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「地上デジタル」を選択して【決定】ボタンを押します。

地上デジタル放送には以下の2種類のチャンネル自動設定機能があります。

・初期スキャン:「かんたん設定」でおこなわれる「チャンネルスキャン」だけをやり直すことができます。
・再スキャン:放送局がふえたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

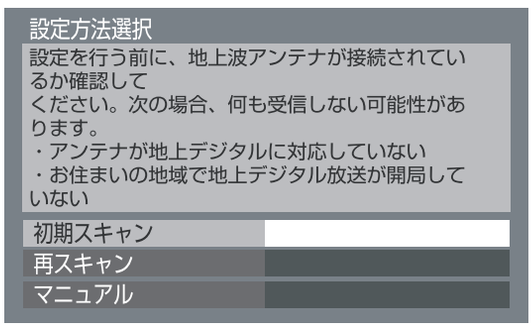
※初期スキャンをしていないと、再スキャンはできません。

4.「初期スキャン」を選択して【決定】ボタンを押します。
5.「地域選択」を選択し【決定】ボタンを押します。
6. お住まいの地域を選択して【決定】ボタンを押します。

※地上デジタル放送のチャンネル設定をするには、お住まいの地域の設定が必要です。

7.「次へ」を選択して【決定】ボタンを押します。
8.「UHF」または「全体域」を選択して【決定】ボタンを押します。

※通常は「UHF」を選択します。
※「全体域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。




9.【決定】ボタンを押します。

初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
初期スキャンをおこなうと、それまでのチャンネル設定の内容がすべて上書きされます。

※スキャン中は、映像が乱れることがあります。

放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「アッテネーター」(P22参照)を「オン」に設定してから、初期スキャンをやり直します。

10. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

---

**■再スキャンをする**

新たに放送局が開局してチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1.「再スキャン」を選択して【決定】ボタンを押します。

再スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
再スキャンが終了すると、新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

2. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

---

**■チャンネルを手動で設定する**

手動(マニュアル)で、リモコンの【数字】ボタン(1～ 12)で選局するチャンネルを変更したり、空いている【数字】ボタンに設定を追加したりすることができます。

1.「マニュアル」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選択し【決定】ボタンを押します。
3.「CH」のチャンネル番号を変更します。
4. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

※はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「マニュアル」は設定できません。

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## 設置設定（つづき）

**■BS・110度CSデジタル放送の設定**

BS・110度CSデジタル放送のチャンネルは、お買い上げ時に設定されています。リモコンの【数字】ボタンへの割り当てを変更するときに、以下の操作をします。

1. 「BS」または「CS」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 修正したい行（リモコンの【数字】ボタン）を選び、【決定】ボタンを押します。
3. 「CH」のチャンネル番号を変更します。
4. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

地上デジタルチャンネル設定

| リモコン | CH | チャンネル名 | 種類 |
|---|---|---|---|
| 1 | 011 | NHK 総合・東京 | テレビ |
| 2 | 021 | NHK Eテレ東京 | テレビ |
| 3 | 031-0 | テレ玉 | テレビ |
| 4 | 041 | 日本テレビ | テレビ |
| 5 | 051 | テレビ朝日 | テレビ |
| 6 | 061 | TBS | テレビ |
| 7 | 071 | テレビ東京 | テレビ |
| 8 | 081 | フジテレビジョン | テレビ |
| 9 | 091 | TOKYO MX | テレビ |
| 10 | 031-1 | チバテレビ | テレビ |
| 11 | ---- | | |
| 12 | 021 | 放送大学 | テレビ |

青　赤　緑　黄
入換
項目選択　決定　戻る（終了）

**■チャンネルを入れ換えたいとき**

1. 「地上デジタル放送のとき」「BS・110度CSデジタル放送のとき」を参照して「チャンネル設定」画面を表示させ【緑】ボタンを押します。
2. 入れ換えたい行を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 入れ換え先の行を選択して【決定】ボタンを押します。
4. 行の入れ換えが終了したら、【戻る】ボタンを押します。

**■地域設定**

■お住まいの地域と郵便番号を設定する

お住まいの地域に応じたデータ放送を視聴するための設定です。
「かんたん設置設定」で設定した状態から変更したいときに、以下の操作をします。

1. 「地域設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「県域設定」を選択して、お住まいの地域を設定します。

※伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
※南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

3. 「郵便番号」を選択して、郵便番号を入力します。

※リモコンの【1】～【10/0】ボタンを使って入力します。
●間違えて入力したときは、【黄】ボタンを押します。

4. 設定が終了したら、【戻る】ボタンを押します。

**■受信設定**

■地上デジタル放送用アンテナの場合

1. 「受信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「地上」を選択して【決定】ボタンを押します。
   「地上デジタル受信設定」画面が表示されます。
3. 必要に応じて、「アッテネーター」を設定します。
   ※「アッテネーター」とは・・・
   地上デジタルは受信強度が強すぎても受信できなくなる場合があります。アッテネーターは、受信した信号を適切なレベルに減衰させるものです。受信レベルの数値が受信良好のレベルに十分達しているときに画面にブロックノイズなどが入る場合は、受信環境に原因がある可能性があります。この場合、アッテネーターを「オン」にしてください。改善される場合があります。
   ※通常は「オフ」にしてください。
4. アンテナ（受信）レベルを確認する
   ※受信の目安は50以上です。
5. 「物理チャンネル」を選択して【決定】ボタンを押します。
6. チャンネルを選択して【決定】ボタンを押します。
7. アンテナの向きを調整して、「受信レベル」を最大値にします。
   ※高所での作業は危険です。アンテナの向きの調整については販売店にご相談ください。

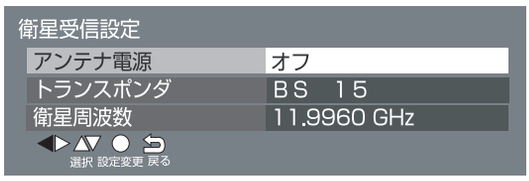
受信設定
地上
衛星
選択　次へ　戻る

地上デジタル受信設定
アッテネーター　オフ
物理チャンネル　25CH
選択　設定変更　戻る

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## 設置設定（つづき）




**■BS・110度CSデジタル放送用アンテナの場合**

1.「受信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「衛星」を選択して［決定］ボタンを押します。
3.「アンテナ電源」を選択して【決定】ボタンを押します。
・BS・110度CS用アンテナに電源を供給するときは、「オン」に設定します。
・ほかの機器からアンテナに電源が供給されているときは、「オフ」に設定します。
※「トランスポンダ」とは「現在の受信中チャンネル」のことです。「トランスポンダ」、「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなる場合があります。放送局などから案内が無い限り、変更しないでください。
4.アンテナ（受信）レベルを確認します。
※受信の目安は50以上です。
5.アンテナの向きを調整して、「受信レベル」を最大値にします。
※高所での作業は危険です。アンテナの向きの調整については販売店にご相談ください。

**■高速起動**

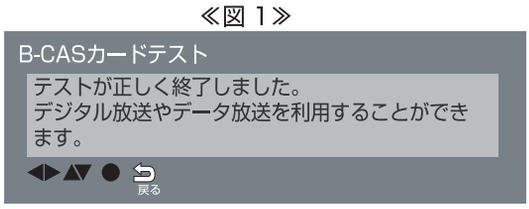
高速起動を「入」にすると、リモコンで電源を入れたとき、テレビの起動が早くなります。
ただし、消費電力が増加します。

**■B-CASカードの動作を確認する**

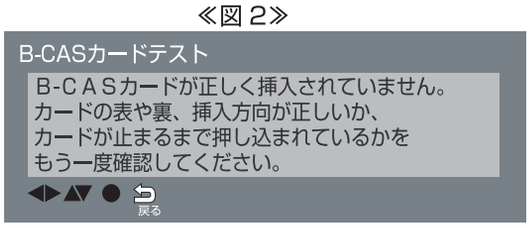
miniB-CASカードを挿入後、3秒以上経過してから操作してください。

1.「B-CASテスト」を選択し、【決定】ボタンを押します。
・右図の≪図1≫ が表示されましたらデジタル放送やデータ放送を利用することができます。
・右図の≪図2≫ が表示されましたらminiB-CASカードの表や裏、挿入方向が正しいか、カードが止まるまで押し込まれているかをもう一度確認してください。

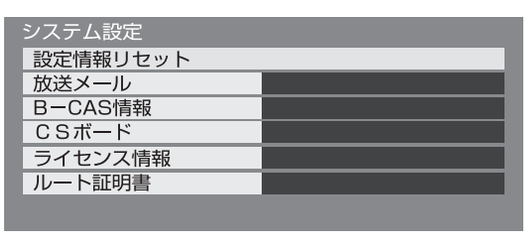
≪図 1≫




≪図 2≫




## システム設定




• 「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■設定情報リセット**

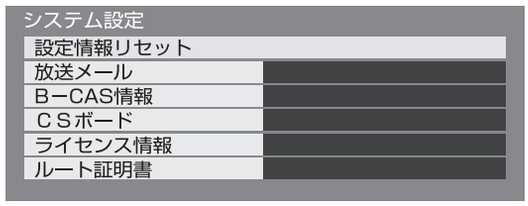
お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。
※初期化をすると、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）もすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合やほかの人に譲り渡す場合にのみおこなってください。
※USBハードディスクの登録情報も消去されます。本機で使用していたUSBハードディスクの録画番組の再生もできなくなります。
※視聴制限設定の暗証番号は消去されません。「暗証番号削除」で消去してください。
※双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作で放送局に登録された情報は、この操作では消去されません。それぞれのサービスで情報の消去作業（退会手続きなど）をおこなってください。

1.「設定情報リセット」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 確認画面で「はい」を選択して［決定］ボタンを押します。
・画面に表示される内容にしたがって、操作します。
・いったん画面が暗くなります。
3. 「かんたん設置設定」画面が表示されるまで、本体の電源を「切」にしないでください。
4. 「かんたん設置設定」画面が表示されましたら、本体の電源を「切」にします。

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## システム設定(つづき)




**■放送メール**

放送メールには、放送局からのお知らせやダウンロード情報などがあります。

1. 「放送メール」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 読みたい放送メールを選択して【決定】ボタンを押します。
   お知らせメールの内容が表示されます。

**■B-CAS情報**

1. 「B-CAS情報」を選択して【決定】ボタンを押します。
   カード情報が表示されます。

**■CSボード**

110度CSデジタル放送からの情報を確認します。

1. 「CSボード」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「CS1ボード」または「CS2ボード」を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 読みたい情報を選択して【決定】ボタンを押します。
   ボードの内容が表示されます。

**■ライセンス情報**

1. 「ライセンス情報」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「ソフト情報表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
   ソフト情報が表示されます。

**■ルート証明書**

地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。

1. 「ルート証明書」を選択して【決定】ボタンを押します。
   ルート証明書の内容が表示されます。

※ルート証明書とは･･･サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書をもとにして、「サーバー証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバー証明書」が信頼できることを確認します。

# 機器設定

①【メニュー】ボタンを押し「設定メニュー」を表示してください
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

## その他の設定

• 「その他の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■文字入力設定**

文字の入力方式を、画面キーボード方式またはリモコンボタン方式に切り換えます。

1. 「文字入力設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「入力方法」を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 「画面キーボード」または「リモコンボタン」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■変換方式を切り換える**

文字の変換方式を切り換えます。

1.「文字入力設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「変換方式」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「通常方式」または「予測方式」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■選局対象**

【チャンネル ∧／∨】ボタンで選局するときに、選択可能な対象を設定することができます。

1. 「選局対象」を選択して【決定】ボタンを押します。

●設定チャンネル：
リモコンの数字ボタンに設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定されたチャンネルが対象になります。

●テレビのみ：
テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみが対象になります。

●全チャンネル：
現在放送されているすべてのチャンネルが対象になります。

# 機器情報

ソフトウェアのバージョンを確認できます。

①【メニュー】ボタンを押して「設定メニュー」を表示してください。
②「機器情報」を選択して【決定】ボタンを押してください。

「ID表示」で【決定】ボタンを押します。
「デコーダーID」「バージョン」が表示されます。

# テレビの視聴と設定

⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

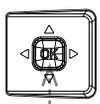
## 電源を入れる

コンセントに電源プラグを差し込むと、スタンバイ状態になり、本体の電源ランプが赤色に点灯します。

本体またはリモコンの【電源】ボタンを使って電源をオンにします。本体の電源ランプが青色に点灯します。

※【電源】ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかる場合があります。画面が表示されるまでお待ちください。

<本体ボタンでの操作>



【OK】を押します

## 電源を切る

もう一度【電源】ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

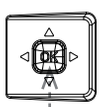
## チャンネルを換える

①数字ボタンで見たいチャンネルを選ぶことができます。

②本体の【△/▽】または、リモコンの【チャンネル∧／∨】ボタンで、チャンネルを選ぶことができます。

③3桁入力は【3桁入力】ボタンを押します。

<本体ボタンでの操作>

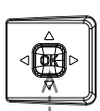


【△】または【▽】方向に動かします

## 音量を調節する

本体の【◁/▷】またはリモコンの【音量 ＋／－】ボタンで、音量を調節することができます。

<本体ボタンでの操作>



【◁】または【▷】方向に動かします

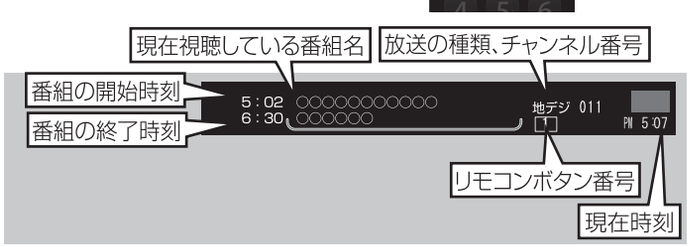
## 消音

【消音】ボタンを押すと、音声を一時的に消すことができます。

再度【消音】ボタンを押す、または【音量＋】ボタンを押すと音声が聞こえるようになります。

## チャンネルの情報を表示する

【画面表示】ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。




もう一度押すと表示が消えます。

●現在視聴している番組の終了時刻3分前からは、次の番組名も表示されます。

●選局時には一部省略された状態で表示されます。

# テレビの視聴と設定

⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

## 番組情報を表示する

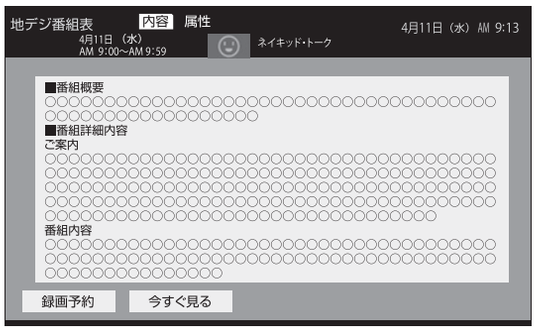
【番組説明】ボタンを押すと、現在視聴している番組の内容が表示されます。

表示を消すには【番組説明】ボタンをもう一度押すか、【戻る】ボタンを押します。

●番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。

●番組情報を取得するタイミングによっては最新の情報が表示されないことがあります。

●なお、番組表からも同様の表示をさせることが可能です。



## 音声を切り換える

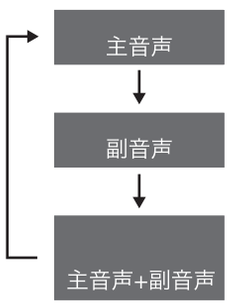
リモコンの【音声切換】ボタンを押すたびに音声を切り換えることができます。

※音声多重放送をおこなっている時に切り換えることができます。

※音声多重放送には二重音声やマルチ音声などがありますが、放送内容によっては表示が異なることがあり、右図と異なることがあります。

※ステレオやモノラルで放送されている場合には音声を切り換えられない場合があります。

主音声で日本語、副音声で外国語というように二ヶ国語で放送している場合。




主音声のみ：日本語のみ出力

副音声のみ：外国語のみ出力

主音声＋副音声：日本語と外国語の両方出力

## 字幕を表示する

①字幕放送時に【字幕】ボタンを押すと番組の音声などを字幕で表示することができます。

※放送によっては設定しても字幕が表示されない場合があります。

※字幕放送に対応している地上デジタル放送の番組でのみ利用することができます。

※映像自体に字幕が表示されている場合は「字幕オフ」に設定しても字幕が表示されます。

※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。

## 放送切換

リモコンの各放送ボタンを押すと、その放送を視聴することができます。

各ボタンを押すだけで各放送へ切り換わります。

# テレビの視聴と設定

⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

## 入力切換

リモコンの【入力切換】ボタンを押すと、右図の表示が出ます。

【入力切換】ボタンまたはリモコンの【▼／▲】ボタンで下図のように入力を切り換えることができます。

〈リモコンの操作と表示〉

→テレビ→HDMI1→HDMI2→ビデオ

## 番組表

デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。

※お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。

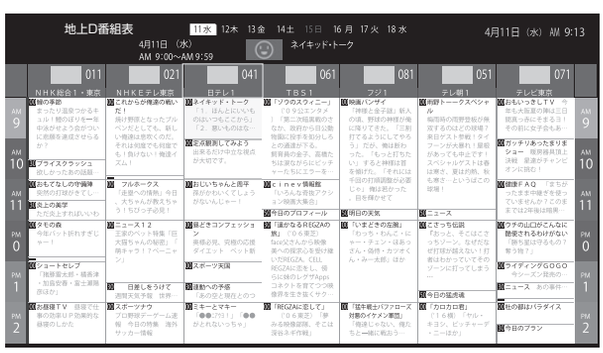
※番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1.デジタル放送視聴中にリモコンの【番組表】ボタンを押しますと、番組表が表示されます。

2.放送の種類を変えるときは【地デジ】、【BS】、【CS】ボタンを押します。

3.翌日の番組表を表示するときは【黄】ボタンを押します。前日の番組表を表示するときは【緑】ボタンを押します。

4.番組表を消すときは、【終了】ボタンまたは【戻る】ボタンを押します。




※番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。

※データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。

※番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

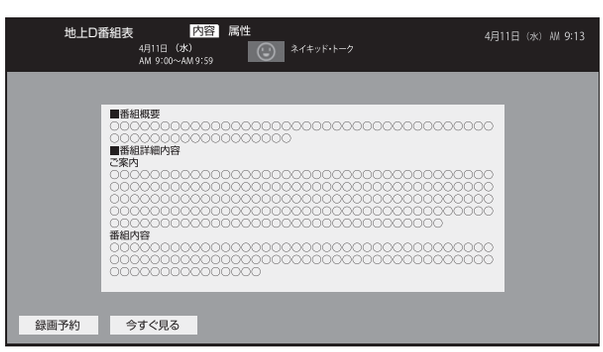
5.見たい番組を【方向】ボタンで選び【決定】ボタンを押します。「番組内容」画面が表示され、番組の内容を確認できます。

6.現在放送中の番組を見るときは「今すぐ見る」を選択して【決定】ボタンを押します。

※これから放送される番組のときは、「今すぐ見る」は表示されません。

・「視聴予約」を選ぶと、視聴予約が設定されます。

・「録画予約」を選ぶと「録画予約設定」画面が表示されます。




### ■番組表を更新する

●番組表の中が空欄になっているときは、空欄になっている放送局を選択して【決定】ボタンを押します。

※【リスト】ボタンを押して「番組データ取得」を選択、【決定】ボタンを押しても取得できます。

※番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。

※録画中は番組情報の取得ができません。

※番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

### ■番組表に表示する内容を変更する

●番組表に表示する表示内容を変更することができます。

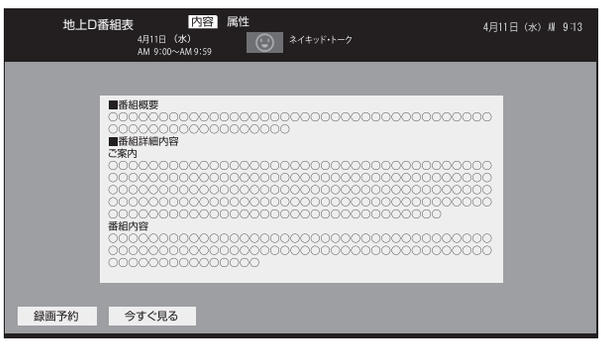
1.番組表を表示中に【リスト】ボタンを押します。

2.「表示内容」を【◀／▶】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。

# テレビの視聴と設定

⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

## 番組表（つづき）




**■ジャンルを選んで番組を探す**

番組のジャンル（分野）を指定して、見たい番組を探すことができます。

1.番組表を表示中に【リスト】ボタンを押します。

2.「番組の検索」を選択して【決定】ボタンを押します。

3.「ジャンル検索」が表示されたら【決定】ボタンを押します。

4.「メインジャンル」に表示された各カテゴリーを選択して【決定】ボタンを押します。

5.「サブジャンル」が表示されるので各カテゴリーを選択して【決定】ボタンを押します。検索結果画面が表示されます。

※「番組内容」画面について。

・「内容」は番組内容が表示されます。
・「詳細」は情報があるときに、画像などで詳しい内容が表示されます。（情報が無いときは、表示されません）
・「属性」は、放送方式などの情報が表示されます。
・「内容」から「詳細」「属性」へと右の項目に移動するときは、【赤】ボタンを押します。左の項目に移動するときは【青】ボタンを押します。

## dデータ

●一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスがおこなわれている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。

●テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1. 視聴中に【dデータ】ボタンを押します。
視聴中のデータ放送が表示されます。

※番組、チャンネルにより表示するまでに時間がかかる場合がありますので、そのままお待ちください。
※操作可能なカラーボタンが表示されている場合は、リモコンの対応するカラーボタンで操作することができます。
※放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。

2. データ放送を表示中に再度【dデータ】ボタンを押すとデータ放送表示を終了します。

## 一時停止／静止

●【一時停止／静止】ボタンを押すと、映像が静止します。

●解除するときは、もう一度【一時停止／静止】ボタンを押します。

●操作をしないで約10分経過すると、静止は解除されます。

※映像の静止中でも音声は流れ続けます。

# 録画・予約機能

## USBハードディスクに関する注意事項

●本製品に録画用として登録できるUSBハードディスクは、160GB～4TBまでのUSBハードディスクです。

●ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。

●本製品で使用したハードディスクは、本製品でのみ再生・録画ができます。
※パソコンなどに接続して再生することもできません。

●本製品で使用したハードディスクを本製品以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同本製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本製品以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
※本製品を2台ご購入された場合でも、1台目の本製品で録画した番組は2台目の本製品では視聴できません。

●本製品の製造後に発表された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。

●本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。

●接続するハードディスクを本製品ではじめてご使用になる場合は、本製品へ接続し初期化をおこなってから使用してください。

●ハードディスク内にパソコンなどのデータがある場合は消去されてしまうのでご注意ください。

●本製品で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本製品で録画した番組はすべて消去されます。

●USBフラッシュメモリは使用できません。

●Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用できません。

●電源非供給タイプ(バスパワータイプ)のハードディスクは使用できません。
電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0HDD)を使用してください。使用時にはハードディスクに付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。

●ハードディスクを使用中(アクセス中)に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなることがありますのでご注意ください。

●本製品に接続したUSBハードディスクを取り外す場合は「USBハードディスクを取り外す(P17)」の操作をしてください。

●USBハブなどを使用しないでください。複数台のハードディスクを接続しての使用はできません。

●録画した番組を再生すると、映像と音声が多少ズレる場合がありますのでご了承ください。

●USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質な製品をお使いください。

●本製品で使用できるハードディスク(HDD)は、DVDディスクなどと違い半永久的に使用／保存できる記録メディアではありません。
録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。
ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応・レコーダーなどの使用をおすすめします。

●故障で本製品を修理した場合などは、USBハードディスクに録画した番組を本製品で再生できなくなります。

●物理的な衝撃(落下、重量物を本製品にぶつけるなど)を与えないでください。

●テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。

●分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。

●電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。

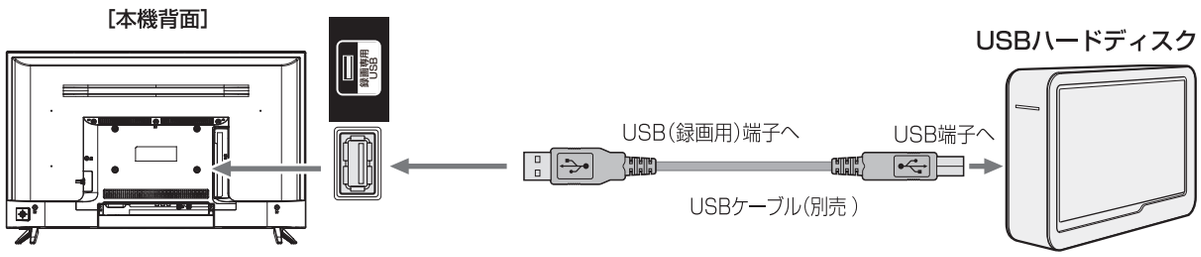
●高温になる場所(自動車内、直射日光の当たる窓際など)で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、本製品は風通しの良い場所へ設置してお使いください。

# 録画・予約機能

## USBハードディスクの接続と設定

**■USB ハードディスクを接続する**

●USB ハードディスクは専用の AC アダプターを接続してご使用ください。
●USB ハードディスクは、USB（録画用）端子に接続します。
※USB ハブを使用した接続はできません。




●USB ハードディスクは、すべての動作を保証するものではありません。

**■USB ハードディスクを本機に登録する**

※USB ハードディスクを録画用に登録すると、USB ハード ディスクは初期化され、すべてのデータが消去されます。
●P17の「機器設定」→「USB機器管理」をご覧ください。

⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

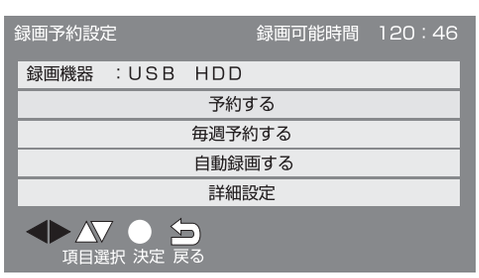
## 番組表で録画・予約をする

**■番組表で予約する（基本操作）**

1.【番組表】ボタンを押して番組表を表示させます。
2.録画する番組を【方向】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。
●「番組内容」画面が表示されます。

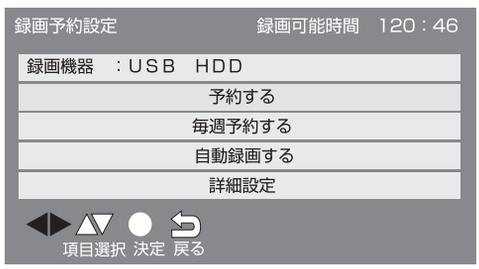
3.「録画予約」を選択して【決定】ボタンを押します。
●「録画予約設定」画面が表示されます。
●「録画機器」が「USB HDD」のときは、録画可能時間が表示されます。

4.「予約する」を選択して【決定】ボタンを押します。
●予約が完了すると、「予約が完了しました」とメッセージが表示されます。
●放送中の番組の場合は、録画が開始されます。
●設定が終了したら【戻る】ボタンを押します。



⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

## 番組表で録画・予約をする（つづき）




**■毎週予約をする**

●毎週予約は、設定した予約と同じ曜日、同じ時間帯の番組を毎回自動的に予約します。
1.「録画予約設定」の「毎週予約する」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。
●予約をした後または録画中に、本機の電源プラグをコンセントから抜かないでください。

**■自動録画をする**

●自動録画は、放送日や放送時間が一定ではないシリーズの番組を、番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから自動検索して、本製品が自動的に毎回予約を設定します。
1.「録画予約設定」の「自動録画する」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■自動予約を一時的に解除する**

●自動予約を一時的に解除したいときに設定します。
1.【設定】→「機器設定」→「録画設定」の順に進み、「自動予約」で「オフ」を選択して【決定】ボタンを押します。
●次回以降の放送は、自動予約されません。
●「1.」で「オン」を選択しますと、設定した内容で自動予約が再開されます。

**注意！**

●番組タイトルが、極端に短いと設定できない場合があります。
●番組名が前回と大きく異なると、次回の放送を検索できない場合があります。
●一つの「自動予約する」からは、1 日に 1 回だけ予約が設定されます。
（同じ番組が 1 日に複数回放送される場合は、1 回だけ予約を設定します）

**■予約の詳細設定を変更する**

●予約の詳細設定を変更します。
「録画予約設定」の「詳細設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
・予約方式：「見るだけ」または「録画」から選択します。
・録画機器：録画機器 が表示されます。
・その他の設定：「録画番組のプロテクト」の設定ができます。
※大切な録画番組を間違えて消去しないように、プロテクト（保護）することができます。
・ 時間指定予約へ：「はい」を選択しますと「時間指定予約」画面が表示されます。

⚠注意　画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

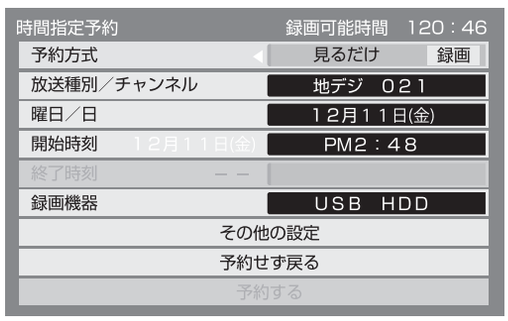
## 番組表で録画・予約をする（つづき）

**■日時を指定して予約をする**

1.【メニュー】→「タイマー設定」→「日時指定予約」の順に進み、
【決定】ボタンを押します。

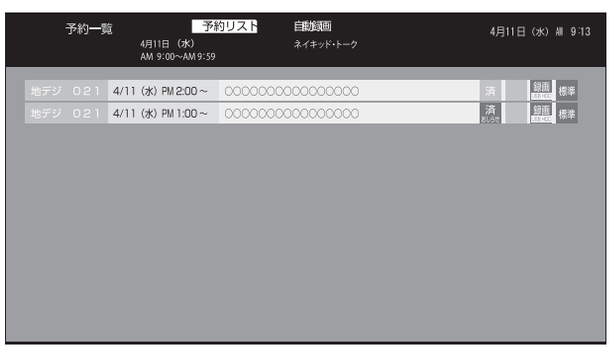
・予約方式
「見るだけ」または「録画」から選びます。
・放送種別／チャンネル
【決定】ボタンを押して、録画する放送とチャンネルを設定します。
・曜日／日
予約する曜日と日を設定します。「毎日」、「毎週」も設定することができます。
・開始時刻
予約を開始する時刻を設定します。
・終了時刻
予約の終了時刻を設定します。
・録画機器
録画する機器を選びます。

2.「予約する」を選択し【決定】ボタンを押します。




**■予約を確認する**

1.【リスト】ボタンを押して「予約一覧」を選択し、【決定】
ボタンを押します。
2.【青】ボタンを押して通常の「予約リスト」の一覧を表示させる、
または【赤】ボタンを押して「自動録画」で予約された次回以降
の番組の一覧を表示させます。




**■予約を変更する**

1.【リスト】ボタンを押して「予約一覧」を選択し、【決定】
ボタンを押します。
2.【青】ボタン（予約リスト）または【赤】ボタン（自動録画）を
押して予約番組一覧の一覧を表示させます。
3. 変更したい予約を選択して【決定】ボタンを押します。
4.「設定変更」を選択して【決定】ボタンを押します。
●「設定変更」画面が表示されます。
●「毎週予約」の番組を選択したときは、「時間指定予約」画面が表示されます。
●「予約削除」を選択しますと、予約が削除されます。
●録画動作中（「実行中」と表示）の予約を選んだときは、「取り消し」を選択しますと録画を停止します。
5. 設定を変更して【戻る】ボタンを押します。
6.「修正する」を選択して【決定】ボタンを押します。
●変更した内容で予約が確定します。

**■予約を削除する**

1.【リスト】ボタンを押して「予約一覧」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.【青】ボタン（予約リスト）または【赤】ボタン（自動録画）を押して予約番組の一覧を表示させます。
3. 削除したい予約を選択して【黄】ボタンを押します。
4.「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■動作済の予約（履歴）を一括で削除する**

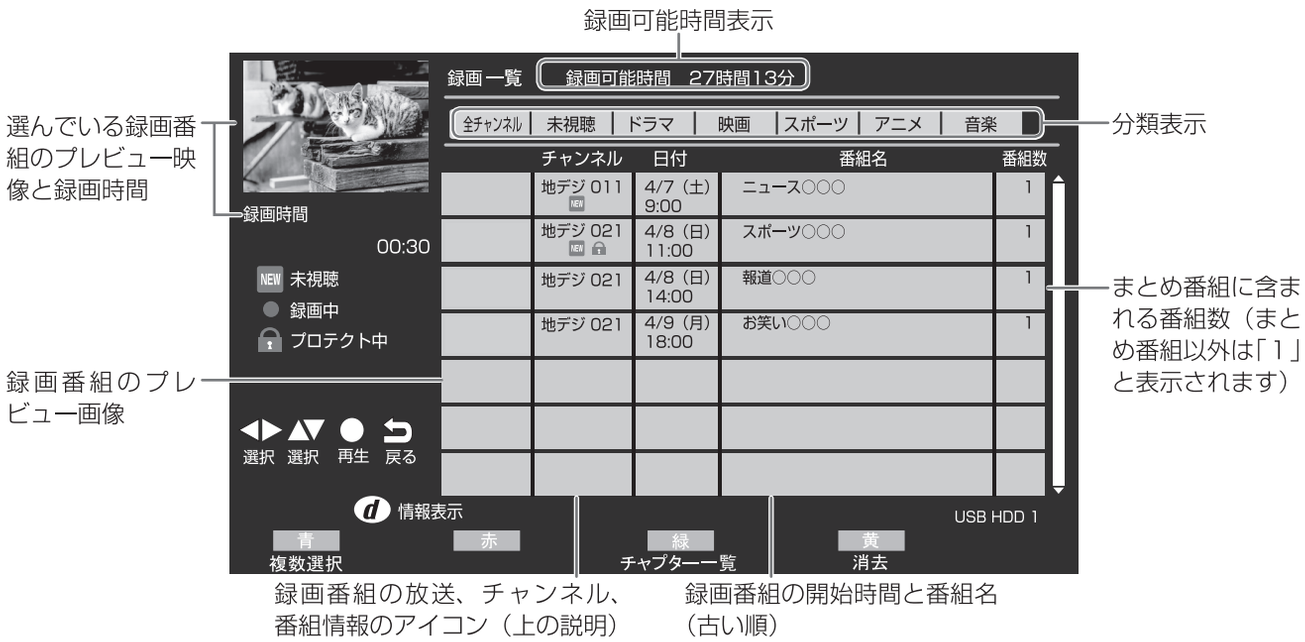
●「予約一覧」画面に表示される、予約（履歴）を一括で削除することができます。
1.【リスト】ボタンを押して「予約一覧」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「予約一覧」画面の表示中に【リスト】ボタンを押します。
3.「全履歴削除」を選択して【決定】ボタンを押します。
4. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。
●予約（履歴）が一括で削除されます。

# 録画した番組を再生する

**■再生の基本操作**

1.【録画リスト】ボタンを押します。
2.【◀/▶】ボタンで見たい分類「全チャンネル」「未視聴」「ドラマ」「映画」「スポーツ」「アニメ」「音楽」を選択します。
3.【▲/▼】ボタンで見たい番組を選択して【決定】ボタンを押します。
●選んだ番組の再生が始まります。
●前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、「続きから再生」するか、「最初から再生」するかを選びます。
選んだ状態の再生が始まります。
●録画番組を最後まで再生が終わると、静止状態になり録画リストに戻ります。
4. 番組再生を停止する場合は【停止】ボタンを押します。

**「録画リスト」画面**




**「録画リスト」**面に表示される番組情報アイコン

| アイコン | 意味 |
|---|---|
| NEW | 未視聴 |
| ● | 録画中 |
| 🔒 | プロテクト（保護）中 |

# 録画した番組を再生する

**■録画番組の再生中にできるリモコン操作**

| ボタン | 内　容 |
|---|---|
| 再生 | ●録画番組の再生を開始します。<br>•テレビ放送やビデオ入力のときに押すと「録画一覧」画面が表示されます。前回、途中まで録画番組を見ていた場合は、「続きから再生」または「最初から再生」を確認する画面が表示されます。 |
| 一時停止/静止 | ●再生中に押すと一時停止されます。<br>• 一時停止中に押すと、再生が再開されます。 |
| 停止 | ●再生が停止され「録画一覧」画面が表示されます。 |
| 早送り | ●再生中に押すと、早送り再生されます。押すたびに早送りの速度が速くなります。（5段階）<br>※【再生】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。 |
| 早戻し | ●再生中に押すと、早戻し再生されます。押すたびに早戻しの速度が速くなります。（5段階）<br>※【再生】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。 |
| 次 | ●再生中に押すと、次のチャプターの頭出しをします。<br>さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。 |
| 前 | ●再生中に押すと、現在のチャプターの頭に戻ります。<br>さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭に戻ります。 |
| 30秒スキップ | ●再生中に押すと、30秒先に進み再生されます。 |
| 10秒バック | ●再生中に押すと、10秒前に戻って再生されます。 |
| 録画リスト | ●放送番組視聴中または再生中に押すと、「録画一覧」画面が表示されます。 |

**再生画面**

# 録画した番組を再生する

**■録画番組の再生中にできるリモコン操作（つづき）**

**●【方向】ボタンと【カラー】ボタンで操作する**

【決定】ボタン：一時停止します。もう一度押すと、再生に戻ります。

【右 ▶】ボタン：早送りします。

※押すたびに早送りの速度が速くなります。（5 段階）

●【決定】ボタンを押すと通常再生に戻ります。

【左 ◀】ボタン：早戻しします。

※押すたびに早戻しの速度が速くなります。（5 段階）

●【決定】ボタンを押すと通常再生に戻ります。

【青】ボタン：現在のチャプターの頭に戻ります。さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭に戻ります。

【赤】ボタン：次のチャプターの頭出しをします。さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。

【緑】ボタン：画面の下側にチャプター一覧が表示されます。

【◀/▶】ボタンで選択して【決定】ボタンを押すと選択したチャプターの頭出しをします。

【黄】ボタン：指定した「A」と「B」の間を繰り返し再生します。

再生中に1度押すと、押した場面が「開始」（「A」と表示）、もう一度押すと「終了」（「B」と表示）になります。もう一度【黄】ボタンを押すと解除されます。

# 文字を入力する

●文字の入力方法には、画面キーボード方式とリモコンボタン方式の２種類あります。

●ＵＳＢ機器管理の際に変更できる表示名の文字入力などに使用できます。

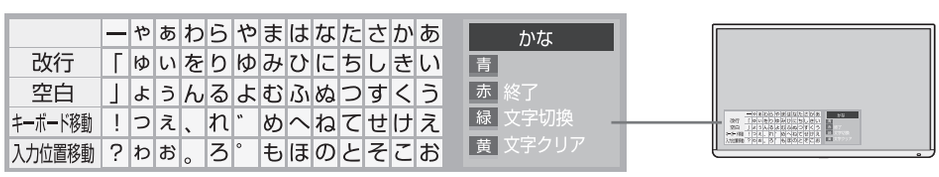
※半角24文字、全角12文字まで入力できます。

**■画面キーボード方式**

●画面に表示されるキーボードから文字や項目を選んで入力します。

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「入力方式」で「画面キーボード」を選択して【決定】ボタンを押します。

2. 画面に表示されるキーボードから文字や項目を選んで入力します。




3.【緑】ボタンを押すと「文字切換」（かな・カナ・英数）ができます。

4.【方向】ボタンでキーボードから文字を選択して【決定】ボタンを押します。

●3.4. を繰り返して、文字を入力します。

5.【青】ボタンを押してから【▲/▼】ボタンで漢字を選択して【決定】ボタンを押します。

●変換しないときは【赤】ボタンを押します。

6. 文字入力が終了したら【赤】ボタンを押します。

●キーボードが消えます。

■変換方式が「予測方式」のとき

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「変換方式」で「予測方式」を選択して【決定】ボタンを押します。

●変換方式を「予測方式」にしたときは、【方向】ボタンで文字を選択すると「予測変換」欄に候補が表示されます。

2.【方向】ボタンの【 ▲ 】ボタンを押し、「予測変換」の候補まで進み、【◀/▶】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。

■文字を追加するとき

1. キーボードの「入力位置移動」選択して【決定】ボタンを押します。

2.【◀/▶】ボタンでカーソルを移動して【決定】ボタンを押します。

3. 文字を入力します。

■文字を削除するとき

1. キーボードの「入力位置移動」選択して【決定】ボタンを押します。

2. 削除する文字に【◀/▶】ボタンでカーソルを移動して【黄】ボタンを押します。

# 文字を入力する

**■リモコンボタン方式**

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「入力方法」で「リモコンボタン」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.【数字】ボタン（1 ～ 12）を使用して入力します。

●文字に続けて【10/0】ボタンを押せば、濁点（゛）や半濁点（゜）の入力ができます。

入力例：がっこう

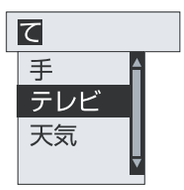
(2) (10/0) (4)(6 回) (2)(5 回) (1) (3 回)
が　っ　こ　う

入力例：あい ➡ (1) ▶ (1) (2 回)
あ　い

●同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に【 ▶ 】ボタンを押します。
●入力文字種を変えるときは【緑】ボタン（文字切換）を押します。
●記号を入力するときは、「きごう」とひらがなで入力し【▲/▼】ボタンで 変換します。
●文字を削除するときは【◀/▶】ボタンで削除する文字にカーソルを移動し【黄】ボタンを押します。
●文字を挿入するには、挿入する場所を【◀/▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。
●漢字に変換しないときは、【決定】ボタンを押します。
●漢字に変換するときは【▲/▼】ボタンを押して、希望の漢字が見つかったら【決定】ボタンを押します。
3. すべての入力が終わったら、【決定】ボタンを押します。

**■変換方式が「予測方式」のとき**

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「変換方式」で「予測方式」を選択して【決定】ボタンを押します。
●変換方式を「予測方式」にしたときは、文字を入力すると候補が表示されます。
●1 文字入力すると候補が表示されます。
2.【▲/▼】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。

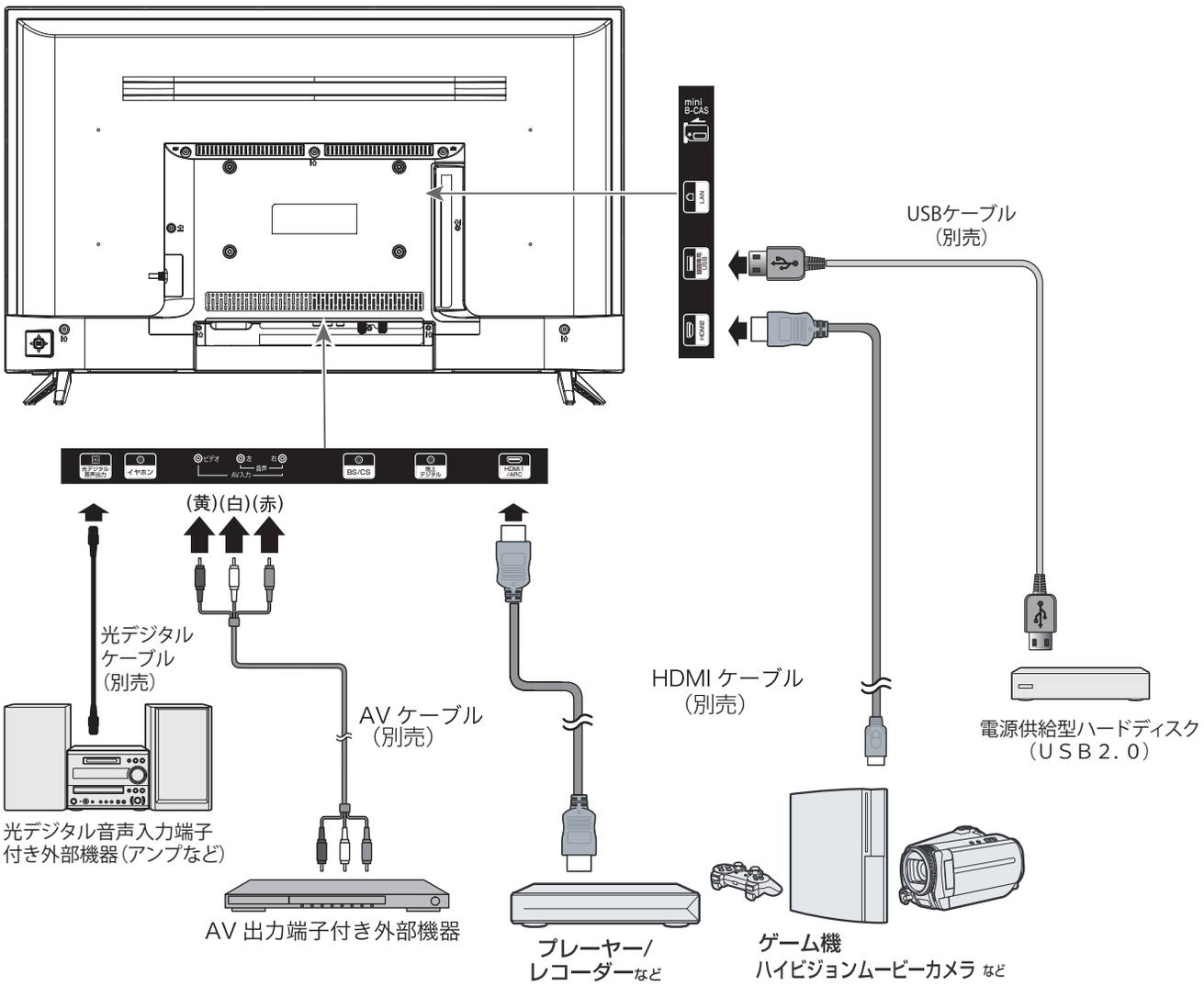



## 入力文字一覧

| リモコン | 入力文字種 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | かな | カナ | 英数 | 数字 |
| (1) | あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お→1 | ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ→1 | @→.→/→:→?→_ #→$→%→*→+→= →^→`→1 | 1 |
| (2) | か→き→く→け→こ→2 | カ→キ→ク→ケ→コ→2 | a→b→c →A→B→C→2 | 2 |
| (3) | さ→し→す→せ→そ→3 | サ→シ→ス→セ→ソ→3 | d→e→f →D→E→F→3 | 3 |
| (4) | た→ち→つ→て→と →っ→4 | タ→チ→ツ→テ→ト→ッ →4 | g→h→i →G→H→I→4 | 4 |
| (5) | な→に→ぬ→ね→の→5 | ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→5 | j→k→l →J→K→L→5 | 5 |
| (6) | は→ひ→ふ→へ→ほ→6 | ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→6 | m→n→o →M→N→O→6 | 6 |
| (7) | ま→み→む→め→も→7 | マ→ミ→ム→メ→モ→7 | p→q→r→s →P→Q→R→S→7 | 7 |
| (8) | や→ゆ→よ →や→ゆ→よ→8 | ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ→8 | t→u→v →T→U→V→8 | 8 |
| (9) | ら→り→る→れ→ろ→9 | ラ→リ→ル→レ→ロ→9 | w→x→y→z →W→X→Y→Z→9 | 9 |
| (10/0) | 、→。→?→!→・ →（→）→0 | 、→。→?→!→・ →（→）→0 | −→,→;→'→"→? →!→&→¥→\|→( →)→<→>→[→] →{→}→0 | 0 |
| (11) | わ→を→ん→わ→ー →スペース | ワ→ヲ→ン→ワ→ー →スペース | スペース | * |
| (12) | 戻る | 戻る | 戻る | # |

●最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

# 外部機器との接続




## ⚠ 接続時のご注意

**ピデオ（AVケーブル）で接続する**

・対応している画像の大きさなど（レゾリューション）は「480i」です。合わないものについては視聴できないことがあります。

**HDMIケーブルで接続する**

・HDMI端子付き機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
・HDMI端子付き機器との相性により音声が出ない場合があります。
・機器間のリンク機能には対応しておりません。

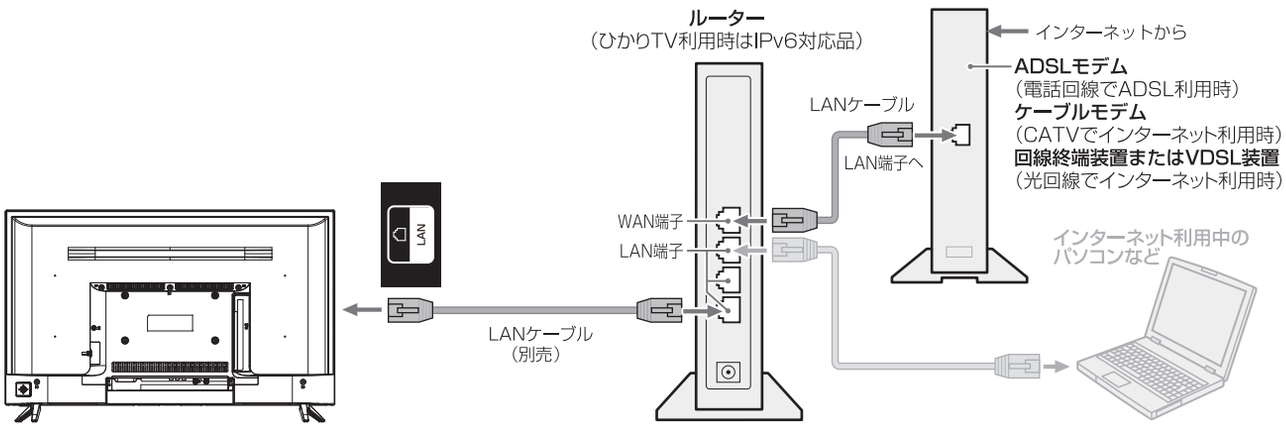
**USBハードディスクを接続する**

・「USBハードディスクの仕様および注意事項」をよくお読みになってから接続・使用してください。
・「新しいハードディスクが接続されました」と表示されましたら、メニューから各設定をおこなってください。
・取り外す場合には、外部機器が録画や再生などで使用されていないことを必ず確認してから取り外してください。

# インターネットの設定

**■インターネットに接続したときにできること**
●データ放送の双方向サービス
・クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。
※電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。

**■接続方法**
●はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。
通信事業者または取扱いの電気店などにご相談ください。




●LAN ケーブルは、カテゴリ 5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。
●本製品の LAN 端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
●本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
●本機はダイヤルアップ通信や ISDN 回線などでインターネットを利用することはできません。
●ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機の LAN 端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

**■インターネットを利用するための設定**
●インターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。
1.【メニュー】ボタンを押します。
2.「設定メニュー」の「通信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「ネットワーク接続」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■IP アドレス設定**
●インターネットに接続するために、本機に割り当てられる 固有の番号を設定します。
※「IP アドレス」および「DNS アドレス」を「自動取得」に設定した場合は以下の設定は不要です。
※「IP アドレス」を「手動取得」に設定した場合、「DNS アドレス」は自動的に「手動取得」に設定されます。
その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。
1.「IP アドレス」を選択して【数字】ボタンで入力します。
2.「サブネットマスク」を選択して【数字】ボタンで入力します。
3.「ゲートウェイ」を選択して【数字】ボタンで入力します。

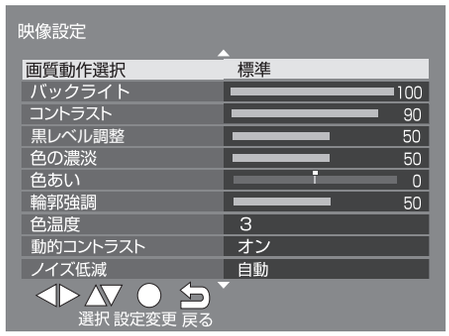
**■DNS 設定**
4.「DNS」を選択して【数字】ボタンで入力します。

**■プロキシサーバー設定**
●インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。
●ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
1.「プロキシ設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「アドレス」を入力します。
3.「ポート番号」を入力します。

**■接続テストをする**
1.【メニュー】ボタンを押します。
2.「設定メニュー」の「通信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「ネットワーク状態」を選択して【決定】ボタンを押します。
●接続テストが終了するまで、しばらくお待ちください。
●正しく接続できない場合は、設定を確認して再度接続テストをおこなってください。

# 映像の設定

①【メニュー】ボタンを押します。
②「設定メニュー」から「映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。




**■画質動作選択**
1.「画質動作選択」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「鮮やか」「標準」「居間」「映画」「映画プロ」「おこのみ」で切り換えます。
お好みに合わせて選択してください。

**■バックライト**
1.「バックライト」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0～100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■コントラスト**
映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。
1.「明るさ」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0～100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■黒レベル調整**
映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。
1.「黒レベル調整」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0～100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■色の濃淡**
映像の色の濃さを調整します。
1.「色の濃淡」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0～100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■色あい**
肌の色に注目して、色あいを調整します。
1.「色あい」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「−50」(紫を強く)～「+50」(緑を強く)の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■輪郭強調**
映像の鮮明さを調整します。
1.「輪郭強調」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0～100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■色温度**
画面全体の色味を調整します。
1.「色温度」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 5段階から選びます。
調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系になり、大きくなるほど寒色系になります。

**■動的コントラスト**
周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
1.「動的コントラスト」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」「オフ」から選びます。
・オン: 明るさ検出機能が働きます。
・オフ: この機能は働きません。

# 映像の設定

①【メニュー】ボタンを押します。
②「設定メニュー」から「映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

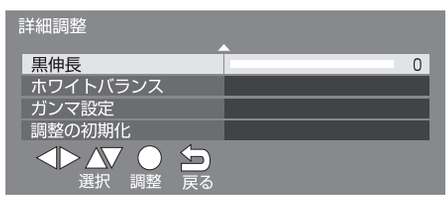
**■ノイズ低減**

映像のざらつきやちらつきを減らします。
1.「ノイズ低減」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「自動」「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。
・自動:映像の種類に応じて自動的に制御されます。
・強、中、弱:ノイズ低減の効果が切り換わります。
・オフ:この機能は働きません。
※通常は「自動」に設定してください。強くかけると残像が目立つ場合があります。

**■MPEGノイズ低減**

動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭の周囲のノイズ)を減らします。
1.「MPEGノイズ低減」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。
・強、中、弱: MPEGノイズ低減の効果が切り換わります。
・オフ:この機能は働きません。
※効果を強くすると精細感をそこなう場合があります。

**■高度な設定/詳細設定** ※画質動作設定を「おこのみ」にします。
1.「高度な設定」を選択して【決定】ボタンを押して「入」にします。
2.「詳細設定」を選択して【決定】ボタンを押します。




●黒伸長
中間より暗い部分の階調変化を調整します。
1. 「黒伸長」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「0〜15」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

●ホワイトバランス
赤、緑、青の信号のホワイトバランスを調整します。明るい部分、暗い部分それぞれを調整します。
1. 「ホワイトバランス」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 調整する項目を選択して調整します。
3. 「−50〜50」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

●ガンマ設定
映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。
1. 「ガンマ設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「2.6」「2.4」「2.2」「2.0」「1.8」から選択します。
※数値が小さいほど、中間輝度が高くなります。
お好みに合わせて調整してください。

**■シネマ設定**

毎秒24コマで撮影された映画の映像を再現します。
※ 1080i信号、480i信号のときに設定できます。
1. 「シネマ設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「シネマリアリティ」の「オン」または「オフ」を選択して【決定】ボタンを押します。
・オン:シネマリアリティの機能が働きます。
・オフ:この機能は働きません。
※映像が不自然なときは、「オフ」に設定してください。

# 映像の設定

①【メニュー】ボタンを押します。
②「設定メニュー」から「映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■画面の設定**

画面の設定を切り換えます。

●画面サイズ切替

| 画面サイズのモード | 画面の見えかた | 説　　明 |
|---|---|---|
| 自動 | ― | 放送や入力信号に応じて、最適な画面サイズに自動で切り換えます。 |
| フル | ※1 | DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。 |
| ジャスト | ※1 | 4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。 |
| ノーマル | | 4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。 |
| ズーム | ※1 | 上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。 |
| サイドカットフル | | 左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面の映像が左右に引き伸ばされます。 |
| ※2 サイドカットジャスト | ※3 | 左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。 |
| ※2 サイドカットズーム | ※3 | 上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。 |

※1　左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2　デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3　左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。

●オーバースキャン

16:9の映像のときに、画面内に収めるか、少し大きめに表示させるかを設定します。

1.「オーバースキャン」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」または「オフ」を選択します。
・オン: 16:9の映像を少し大きめに表示させます。
・オフ: 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。

●両横ノイズカット

映像の両端にノイズ状のものが見える場合、画面の左右の幅を変更できます。

1.「両横ノイズカット」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「標準」または「小」を選択します。
・標準:画面内に収まるように表示させます。
・小:左右を少し伸ばして表示させます。

●垂直位置／大きさ

外部入力時に映像の垂直位置や大きさを調節します。

●4:3映像設定

画面サイズのモードが「自動」のときの、4:3映像の表示のさせかたを設定します。

1.「4:3映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「ノーマル」または「ジャスト」を選択します。
※映像信号が1080p、1080i、720pのときは動作しない場合があります。

**■調整の初期化**

「映像設定」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1. 「調整の初期化」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

# 音声の設定

①【メニュー】ボタンを押します
②「設定メニュー」から「音声設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

**■音声調整**

1.「音声調整」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「標準」「音楽」「会話」「おこのみ」で切り換えます。
お好みに合わせて選択してください。

・標準：全音域をバランスよく調整した音質です。
・音楽：メリハリ感を強調した音質です。
・会話：人の声を聞きやすく調整した音質です。
・おこのみ：お好みに合わせて調整するモードです。

**■低音**

低音の強さを調整します。
1.「低音」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「－15～+15」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■高音**

高音の強さを調整します。
1.「高音」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「－15～+15」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■イコライザー**

音声調整を「おこのみ」に切り換えると設定できます。
各周波数（150、250、500、1k、2k、4k、8k、12kHz）で、
－6～+6の範囲で調整します。

**■バランス**

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
1.「バランス」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「L15」（右を弱く）～「0」（左右同じ）～「R15」（左を弱く）の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■サラウンド**

臨場感あるサラウンド効果を楽しむときに設定します。
※モノラル音声には効果がありません。
1.「サラウンド」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」または「オフ」から選びます。

・オン：サラウンド機能が働きます。
・オフ：この機能は働きません。

※音がひずむ場合は、「オフ」に設定してください。

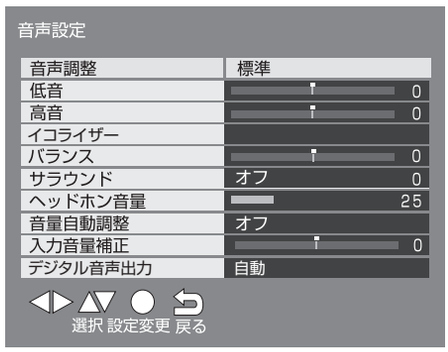
**■ヘッドホン音量**

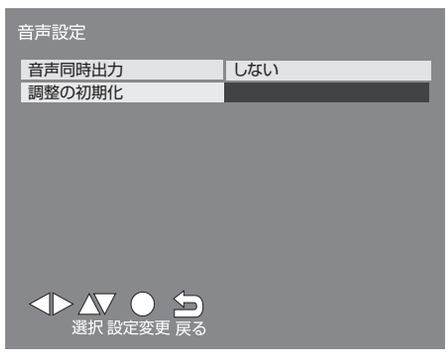
ヘッドホンの音量を調整します。
1.「ヘッドホン音量」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0～100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

**■音量自動調整**

音の強弱を少なくして、音量の変化を抑えます。
1.「音量自動調整」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」または「オフ」から選びます。

・オン：小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整して音量の変化を抑えます。
・オフ：この機能は働きません。




**■入力音量補正**

放送から外部入力に切り換えたときに、音量が変化することがあります。このようなときに、音量を補正することができます。
※音量を調整したい放送または外部入力を視聴しているときに操作します。
1.「入力音量補正」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「－6」～「+6」の範囲で調整します。

**■デジタル音声出力**

「自動」「PCM」「ビットストリーム」から選択いただけます。
通常は「自動」ですが、テレビとホームシアターシステムがHDMIで接続しているのであれば、「PCM」ではなく、「ビットストリーム」出力を推奨します。

**■音声同時出力**

ヘッドホンとテレビ両方から音声が出ます。
1.「音声同時出力」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「する」「しない」から選びます。

・する：ヘッドホンとテレビの両方から音声が出ます。
・しない：ヘッドホンを接続したときにテレビから音声が出ません。

**■調整の初期化**

「音声設定」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。
1.「調整の初期化」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

# 各種設定

【メニュー】ボタンを押しますと「設定メニュー」が表示されます。
ここから各種設定を変更することができます。「設定メニュー」の詳細は下表でご確認ください。

| 設定メニュー | 設定項目 | 説　明 |
|---|---|---|
| 映像設定 | 画質動作選択 | [鮮やかー標準ー居間ー映画ー映画プローおこのみ]<br>から選択いただけます。 |
| | バックライト | [設定範囲]0～100。バックライトを0(暗い) ～ 100(明るい)の範囲で調節します。 |
| | コントラスト | [設定範囲]0～100。明暗の差を0(小さい) ～ 100(大きい)の範囲で調節します。 |
| | 黒レベル調整 | [設定範囲]0～100。暗部を0(暗い) ～ 100(明るい)の範囲で調節します。 |
| | 色の濃淡 | [設定範囲]0～100。色の濃淡を 0(淡) ～ 100(濃)の範囲で調節します。 |
| | 色あい | [設定範囲]－50～+50。色あいを－50(紫)～＋50(緑)の範囲で調節します。 |
| | 輪郭強調 | [設定範囲]0～100。輪郭の強調を0～100の範囲で調節します。 |
| | 色温度 | [設定範囲]1～5。白の色調を調整できます。0(赤みがかった白色)～5(青みがかった白色)の範囲で調節します。 |
| | 動的コントラスト | [オン／オフ]自動で映像のメリハリを調整します。 |
| | ノイズ低減 | [自動／強／中／弱／オフ]から選択します。<br>映像のざらつきやちらつきを減らします。 |
| | MPEGノイズ低減 | [強／中／弱／オフ]から選択します。<br>動きの速い映像のブロックノイズとモスキートノイズを減らす機能です。 |
| | 高度な設定／詳細設定 | [入／切]で「入」を選択した時は詳細設定をおこなってください。 |
| | シネマ設定 | [オン／オフ]を選択します。<br>毎秒24コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。 |
| | 画面の設定 | 画面の詳細を設定します。(P42参照) |
| | 調整の初期化 | 映像設定の内容をお買い上げ時の設定・調整に戻します。 |
| 音声設定 | 音声調整 | [標準ー音楽ー会話ーおこのみ]<br>から選択いただけます。 |
| | 低音 | [設定範囲]－15～+15。低音を－15(高) ～+15(低)の範囲で調節します。 |
| | 高音 | [設定範囲]－15～+15。高音を－15(低) ～+15(高)の範囲で調節します。 |
| | イコライザー | 音声調整を「おこのみ」に切り換えると設定できます。<br>各周波数(150、250、500、1k、2k、4k、8k、12kHz)で、－6～+6の範囲で調整します。 |
| | バランス | [設定範囲]左0～15、右0～15の範囲で左右のスピーカーを調節します。 |
| | サラウンド | [オン／オフ]自動で臨場感を調整します。 |
| | ヘッドホン音量 | [設定範囲]0～100。ヘッドホン音量を 0(小) ～100(大)の範囲で調節します。 |
| | 音量自動調整 | [オン／オフ]自動で音の強弱を少なくして、音量の変化を抑えます。小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整します。 |
| | 入力音声補正 | [設定範囲]－6～+6の範囲で調節します。放送から外部入力に切り換えたときに、音量が変化することがあります。このようなときに音量を補正できます。 |
| | デジタル音声出力 | [自動ーPCMービットストリーム] から選択いただけます。 |
| | 音声同時出力 | [する／しない]ヘッドホンとテレビ両方同時出力の有効または無効を設定します。 |
| | 調整の初期化 | 「音声設定」の内容を、お買上げ時の設定・調整に戻します。 |
| 通信設定 | ネットワーク接続 | LANの状態を表示します。名称の変更、IPアドレス、DNSアドレスの自動取得または手動設定が選択できます。 |
| | ネットワーク状態 | ネットワークの接続状態を確認できます。<br>確認には数分かかる場合があります。 |

# 各種設定

【メニュー】ボタンを押しますと「設定メニュー」が表示されます。
ここから各種設定を変更することができます。「設定メニュー」の詳細は下表でご確認ください。

| 設定メニュー | 設定項目 | 説　明 |
|---|---|---|
| タイマー設定 | 日時指定予約 | 番組の視聴開始日時を予約できます。 |
| | オンタイマー | 電源オンの時刻を予約できます。 |
| | 無操作電源オフ | 無操作状態が続いた場合のオフタイマーを設定します。<br>「入」を選択した時は、約4時間無操作状態が続くと電源が切れます。 |
| | 無信号電源オフ | 無信号状態が続いた場合のオフタイマーを設定します。「入」を選択した時は無信号状態が10分続くと電源が切れます。 |
| 機器設定 | USB機器管理 | USB外付けHDDのさまざまな設定をします。(P17参照) |
| | 録画設定 | USB外付けHDDでの録画、再生するための基本的な設定をします。 |
| | 視聴制限設定 | 暗証番号設定や視聴年齢(4才から19才)制限設定をします。 |
| | 表示の設定 | 字幕の設定や、入力機器名の変更、チャンネルを換えた時のタイトル、時計表示のオン／オフの設定をします。 |
| | HDMI設定 | HDMI接続機器との連動を[オン／オフ]で選択します。 |
| | かんたん設定 | ご購入後、はじめに設定します。(P14参照) |
| | 設置設定 | 「かんたん設定」を、より詳しく設定します。(P20参照) |
| | システム設定 | 放送メールやB-CAS情報などシステムに関する設定や情報が確認できます。(P23参照) |
| | その他の設定 | 文字入力、変換、方式の設定などができます。(P25参照) |
| 機器情報 | ID表示 | ソフトウェアのバージョンを確認できます。 |

# サブメニュー（クイックメニュー）

【リスト】ボタンを押しますとさまざまな設定が表示されます。
ここから各種設定をすることができます。詳細は下表でご確認ください。

| 設定メニュー | 設定項目 | 説　明 |
|---|---|---|
| HDMI機器設定 | HDMI機器選択 | HDMIに接続されている機器を選択します。 |
| | スピーカー選択 | HDMI連動機能対応のAVアンプからの音声を、テレビで出力するか外部スピーカーから出力するかを選びます。 |
| オフタイマー | | [90分・60分・30分・オフ]から選択します。<br>選択した時間がたつと電源が切れます。 |
| 予約一覧 | | 録画予約した一覧を表示します。 |
| チャンネル設定 | | 地デジ、CS、BSのチャンネル設定ができます。 |
| 3桁入力選局 | | 3桁入力で選局ができます。 |
| 視聴制限一時解除 | | 設定した視聴年齢制限を解除できます。<br>※再度設定する場合は【設定】から「機器設定」→「視聴制限設定」からおこないます。 |
| アンテナレベル | | アンテナの受信状況を表示します。 |
| 枝番選局 | | 1つの放送局で複数の番組が放送されている際に選択できます。<br>※地上デジタル放送視聴時のみ |
| 信号切換 | | マルチビュー、映像、音声、二重音声、データ、字幕、字幕言語を切り換えます。 |
| データ放送表示切 | | データ放送の表示を切ります。 |

# 故障かな?と思ったら

## ■修理を依頼される前にお調べください

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本製品では、ゲーム機からの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。あらかじめご了承ください。

| このようなときは | | ここをお確かめください |
|---|---|---|
| 電源 | 電源が入らない | ●電源プラグが抜けていませんか。<br>→電源プラグをコンセントに差し込んでください。<br>●「電源」ランプが消灯していませんか。<br>→電源プラグをコンセントに差し込んでください。<br>※「電源」ランプが消灯しているときは、リモコンで電源を入れることはできません。<br>●「電源」ランプが赤色に点滅していませんか。<br>→電源プラグをコンセントから抜き、1分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでください。 |
| リモコン | リモコンで操作できない | ●リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。<br>→障害物を取り除いてください。<br>●リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>→新しい乾電池に交換してください。<br>●リモコンの乾電池の向き(+、−)が合っていますか。<br>→向き(+、−)を確認し、正しく入れてください。<br>●テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか。<br>→正しく受光部に向けて操作してください。(P12参照) |
| テレビを見ている時 | 映像、音声が出ない | ●アンテナ線が外れていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。<br>→アンテナ線を確認して正しく接続してください。<br>●アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。<br>→確認して、まっすぐにしてください。(折らないようにご注意ください)<br>●アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。<br>→アンテナ線を交換してください。<br>●レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。<br>→アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本製品の故障ではありません。<br>●電波が弱くありませんか。<br>→アンテナレベルを確認してアンテナの向きを調整してください。<br>●アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていませんか。<br>→確認して、しっかりと接続してください。<br>●アンテナ線、端子がサビていませんか。<br>→サビを取り除いてください。<br>※とれないときは、アンテナ線を交換する、本体側のときは販売店またはサポートセンターにご相談ください。<br>●接続されていない入力先に切り換えられていませんか。<br>→【入力切換】ボタンで確認してください。<br>●ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていませんか。<br>→ヘッドホン端子を確認してください。<br>●画面左下に「🔇×マーク」は付いていませんか。<br>→「消音」になっています。リモコンの【消音】ボタンを押すか、【音量】ボタンを押してください。<br>■県外に引越しをしたら<br>→引越し後「初期スキャン」または「再スキャン」をしてください。 |
| | 接続機器の映像が出ない | ●機器が正しく接続されていますか。<br>→接続を確認してください。正しく接続してください。<br>●機器の電源が入っていますか。<br>→機器の電源を入れてください。 |

# 故障かな?と思ったら

| このようなときは | | ここをお確かめください |
|---|---|---|
| テレビを見ている時 | 映像の色が悪い | ●部屋の明るさに合った適切な設定、調整になっていますか。<br>→「映像設定」で適切な設定、調整をしてください。 |
| | BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる | ●アンテナ接続に分配器を使用していますか。<br>→分配器は「全端子通電型」のものを使用します。<br>●有料放送ではありませんか。<br>→有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。<br>●壁のアンテナ端子が一つだけになっていませんか。<br>→アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。<br>→BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続してください。 |
| | 番組表に内容が表示されない | ●電源プラグを抜いていませんでしたか。<br>→電源プラグをコンセントに差し込みます。<br>「番組表を更新する(P28参照)」の操作をしてください。 |
| | 放送局のすべてのチャンネルが表示されない | ●「選局対象」を「設定チャンネル」または「テレビのみ」に設定していませんか。<br>→「選局対象」を「すべて」に設定してください。(P25参照) |
| | USBハードディスクが使用できない(認識されない) | ●本製品の仕様に合ったUSBハードディスクですか。<br>→本製品で使用できるUSBハードディスクは160GB～4TBまでです。確認をしてください。<br>●USBハードディスクが登録されていますか。<br>→USBハードディスクを登録してください。(P17参照)<br>● USBハードディスクの残量が足りていますか。<br>→残量を確認してください。(P17参照)<br>※不要な番組を削除してください。<br>●コピー禁止の番組ではありませんか。<br>→録画はできません。 |
| | 録画した番組が消えた | ●録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。<br>→録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かないでください。<br>※録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 |
| | テレビで再生できない | ●本製品で録画したUSBハードディスクですか。<br>ほかのテレビなど(本製品と同じ型名のテレビを含む)で録画したUSBハードディスクは再生できません。<br>また、本製品で録画したUSBハードディスクはほかの製品(本製品と同じ型名のテレビを含む)、パソコンなどで再生することはできません。 |
| | デジタル放送が映らない | ●mini B-CASカードは正しく挿入されていますか。<br>→mini B-CASカードを正しく挿入してください。(向きを確認し奥までしっかり挿入してください)<br>→mini B-CASカードの金属部分が接触不良(ホコリ、ちり、結露、サビ)の場合は何度か挿入しなおすと視聴できるようになる場合があります。または、きれいな乾いた布で金属部分のよごれを拭き取ります。mini B-CASカードが折れたり、傷ついたり、曲げたり、欠けたりすると使用できなくなりますので丁寧に扱ってください。 |

# 製品仕様

| | | |
|---|---|---|
| 製品名 | | 32v 型 地上 /BS/CS ダブルチューナー液晶テレビ |
| 品番 | | J32TSS06 |
| 画面 | パネル | 32 インチ液晶 |
| | 画素数（水平×垂直） | 1,366 × 768（HD） |
| | アスペクト比 | 16：9 |
| | コントラスト比 | 3,000：1 |
| | 応答速度 | 8.5ms |
| | 視野角（水平×垂直） | 178° × 178° |
| チューナー | 地上 | × 2 |
| | BS・110度CS | × 2 |
| 機能 | Dデータ放送 | BML対応 |
| | 電子番組表 | EPG対応 |
| 入力端子 | HDMI（1.4） | × 2（HDMI1：ARC 対応） |
| | アンテナ | × 2（地上 × 1、BS・110度CS × 1） |
| | USB（2.0） | × 1（録画専用） |
| | AV（RCA） | （映像 ×1、音声 ×2［左・右］） |
| | LAN | × 1 |
| | miniB-CASカードスロット | × 1 |
| 出力端子 | イヤホン | × 1（ステレオミニピンφ3.5mm） |
| | 光デジタル音声 | × 1 |
| スピーカー | | 8W + 8W（ステレオ） |
| USBハードディスク対応最大容量 | | 4TB |
| 電源 | | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力（待機時） | | 53W（0.5W） |
| 年間消費電力 | | 73kWh/ 年 |
| 外形寸法 | ［スタンド含む］ | 約 731mm（幅）× 468mm（高さ）× 177mm（奥行） |
| | ［スタンド除く］ | 約 731mm（幅）× 433mm（高さ）× 68mm（奥行） |
| 質量 | ［スタンド含む］ | 約 4.1 kg |
| | ［スタンド除く］ | 約 3.6 kg |
| 壁面設置 | VESA | 200mm × 100mm<br>※ネジ付属（上段用2本：M4×15・下段用2本：ST4×15） |
| 電源コード長 | | 約 1.5m |
| 付属品 | リモコン、リモコン用単 4 形電池 ×2（動作確認用）、miniB-CAS カード、スタンド ×2、スタンド用ネジ ×2、壁掛け金具取付用ネジ2種×各2、取扱説明書（保証書付き） | |

※ 本製品は電子番組表（EPG：約7日分）と字幕・文字スーパー放送に対応しております。
※ 本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。
※ ケーブルテレビ（CATV）を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。
※ 付属品の単4 形乾電池2本はリモコンの動作確認用です。
※ この製品は日本国内専用です。
※ 本製品は専用のスタンドで設置するよう設計されていますが、背面に部品取り付け穴があり、他社販売の壁掛け金具やアーム等を接続することが可能です。これら設置の際は取り付け部品の仕様、壁面･土台部分の仕上げや施工状態によっては落下等による破損や不具合の危険もございます。専門業者に施工をご依頼頂くことを推奨すると共に、専用スタンド以外を使った設置により生じた製品の不具合や破損、落下や製品以外の器物破損等の事故については保証できかねます旨ご了承ください。
※ 本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

# ご使用上のお願いとご注意

## 取り扱いについて

● 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
● 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
● 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
● 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
● 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
● 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
● 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
● 外部入力（AV入力、HDMI 1・2）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
- ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
- 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合

## 電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

● 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順でおこなってください。
❶ 本機に接続したUSBハードディスクで録画をしている場合は終了させる
●「予約を確認する」（P33参照）の手順で確認してください。
❷ 録画予約が設定されていないか確認する
●「予約を確認する」（P33参照）の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。
電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
❸ 本体の電源ボタンを押して電源を切る
❹ 電源プラグをコンセントから抜く

## 録画・録音について

● 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
● 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
● 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
● あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
- 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
- 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
- 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

## 本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

●「設定情報リセット」（P23参照）で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名・ポイント数などの利用者個人の情報）、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
● 廃棄時にご注意ください。
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いのうえ、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

## 免責事項について

● 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
● 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いません。
● 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、弊社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
●表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.999% 以上の有効画素と 0.001%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障、あるいは不良ではありません。修理・交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

# 保証とアフターサービス

## 基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。 **www.maxzen.jp**

## 故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

**マクスゼンテクニカルセンター TEL:0570-099-455**

mail：mtc@maxzen.jp　受付時間：平日9:00～17:00 月曜～金曜日（祝日を除く）

○お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
○利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

## 修理について

当社では原則的に出張修理を行なっておりません。
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

## 部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 修理を依頼されるときは

### 保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

### 保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させて頂きます。

### 修理料金について

修理料金は、技術料･部品代･製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行なっておりません。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |
| 送料 | 製品を修理会社まで運搬するための費用です。 |

## 廃棄時にご注意願います。

家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

**長年ご使用のテレビの点検をぜひ！** 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

| ご使用の際このような症状はありませんか? | ご使用中止 |
|---|---|
| ●電源を入れても映像や音が出ない。<br>●映像が時々、消えることがある。<br>●変なにおいがしたり、煙が出たりする。<br>●電源を切っても、映像や音が消えない。<br>●内部に水や異物がはいった。 | このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。<br>ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。 |

# 保　証　書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 製品名 | 32v型 地上/BS/CS ダブルチューナー 液晶テレビ | ご購入履歴を印刷いただき本書と一緒に保管してください | |
| 品番 | J32TSS06 | | |
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 | 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります | |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に | | |
| 接続している機器 | | 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください | |
| お名前 | | | |
| ご住所 | | 販売店 | |
| 電話番号 | | | |

■保証期間はお買い上げ日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
（保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
■保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
■保証期間が過ぎている時はお買い上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。
■本製品の使用･故障によって生じた直接･間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

## 保証規定

1.修理はお買い上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
2.ご贈答、ご転居の際は、お買上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
・お買上げ後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
・保証書の提示がない場合。
・保証書にお客様名、お買上げ日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
・一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
・不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
・オークション、フリマサイト、中古販売店にて購入された商品の場合。
・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

4.本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in japan.）
5.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

MEMO

MAXZEN

〇本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、
無効となりますので必ずご確認ください。
〇本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
〇本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
〇本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

**マクスゼンテクニカルセンター**
**TEL.0570-099-455**
受付時間：平日 9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日を除く)
**mail：mtc@maxzen.jp**

Copyright ©MAXZEN.Inc All Rights Reserved.